

療養病床実態調査の結果と考察について

平成18年度調査との比較 1

平成18年度及び平成27年度における療養病床実態調査の比較について

	平成18年度療養病床実態調査（全国）		平成27年度療養病床実態調査(高知県)	
調査日	平成18年10月1日		平成27年12月11日	
調査方法	療養病床（回復期リハビリテーション病棟入院料を算出する病床を除く。）を有する医療機関のうち入院患者の1/3抽出		療養病床を有する医療機関の療養病床に入院する全患者	
調査対象施設数・病床数・入院患者数	96施設	4,249床・3,929人(高知県医療療養病床分)	89施設	4,795床(*1)
		2,892床・2,672人(高知県介護療養病床分)		1,978床
回答施設数・入院患者数	96施設	1,288人（高知県医療療養病床分）	86施設	4,552床(*2)（回収率94.9%）・ 4,179人(*3)
		851人（高知県介護療養病床分）		1,948床（回収率98.5%）・ 1,832人

（以降、回復期リハビリテーション病棟及び地域包括ケア病棟については比較検討外とする。） *1 回復期リハビリテーション病棟及び地域包括ケア病棟660床を含む。
 *2 回復期リハビリテーション病棟及び地域包括ケア病棟606床を含む。
 *3 回復期リハビリテーション病棟及び地域包括ケア病棟入院患者637人を含む。

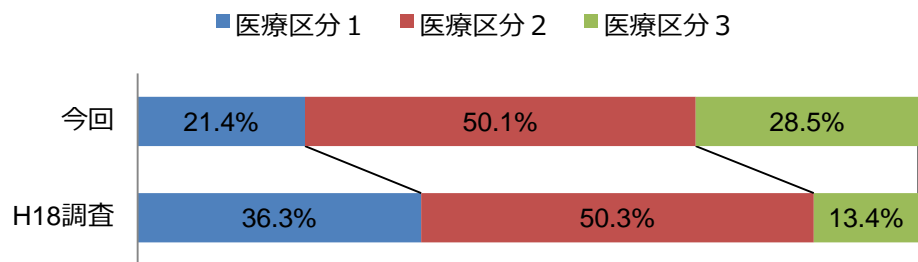
調査項目	比較等（平成27年度状況）
1 療養病床入院患者の医療区分	医療療養病床は、医療区分2が最も多く、平成18年調査と比較して医療区分3が増加し、医療区分1が減少している。介護療養病床は医療区分1が最も多く、平成18年調査と比較して医療区分3が増加し、医療区分2が減少している。
2 医療療養病床入院患者の医療区分ごとのADL区分	ADL区分3が最も多く、平成18年調査と比較してADL区分3が増加している。
3 医療療養病床における医療処置について	吸痰吸引、経管栄養、酸素療法、膀胱カテーテル、点滴等が多く、特に夜間の吸痰吸引が多い
4 介護療養病床における医療処置について	吸痰吸引、経管栄養、胃ろう、膀胱カテーテル等が多く、特に夜間の吸痰吸引が多い
5 介護療養病床入院患者の要介護度	要介護5が6割いる。平成18年度調査と比較して要介護4以上が増加している。
6 住居と世帯の状況	自宅が8割前後で、単身世帯都高齢者のみの世帯が半分以上である。平成18年調査と大きな差はない。
7 所得の状況	医療療養病床は、低所得Iが最も多く、平成18年調査に比べて低所得者の割合が増加している。介護療養病床は、利用者負担第2段階が最も多く、平成18年調査に比べて利用者第2、3段階が増加し、利用者第1、4段階が減少している。
8 家庭での介護者の状況	医療療養病床及び介護療養病床入院患者とも、日中、夜間とも介護できる人がいないが最も多く、平成18年調査に比べて増加している。
9 療養病床入院患者の医療や介護の必要性を踏まえた望ましい施設	望む施設は医療療養病床が最も多く、介護療養病床が続き。介護施設を望ましいと考える割合が、減少している。特に患者家族は医療療養病床を望んでいる。

平成18年度調査との比較 2

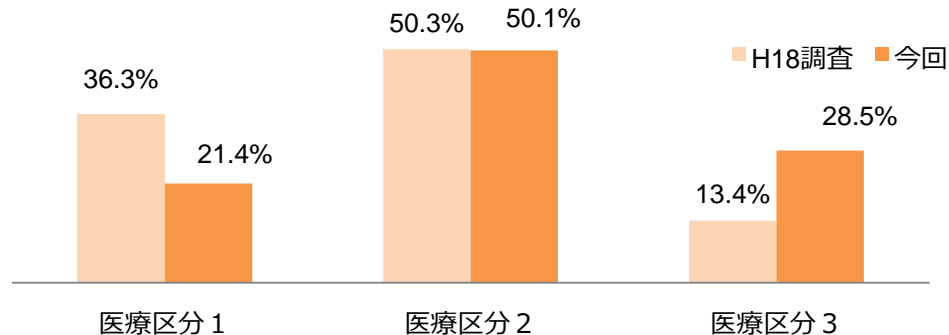
入院患者の医療区分について

医療療養病床において、医療区分3の割合が増加

医療療養病床入院患者の医療区分



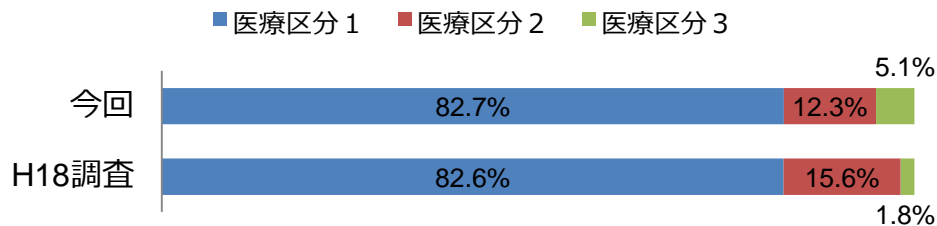
医療療養病床入院患者の医療区分



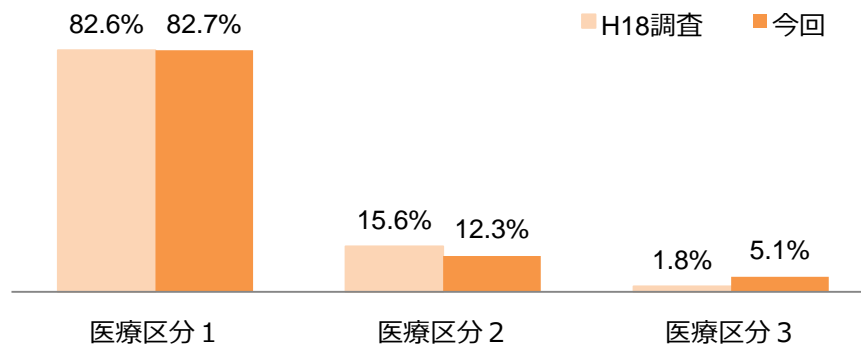
☆医療区分別

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		合計	
今回	753	21.4%	1,760	50.1%	1,002	28.5%	3,515	100.0%
H18調査	1,427	36.3%	1,975	50.3%	527	13.40%	3,929	100.0%

介護療養病床入院患者の医療区分



介護療養病床入院患者の医療区分



☆医療区分別

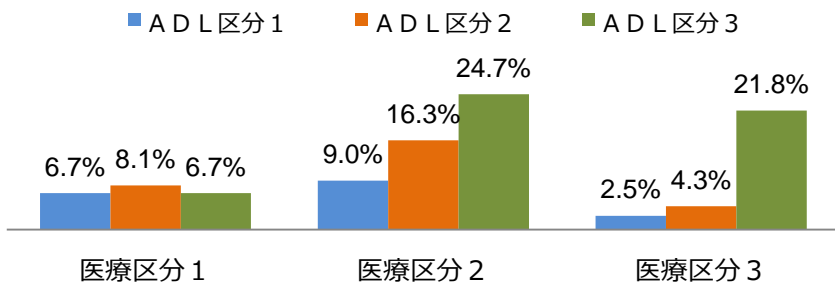
	医療区分1		医療区分2		医療区分3		合計	
今回	634	82.7%	94	12.3%	39	5.1%	767	100.0%
H18調査	690	82.6%	130	15.6%	15	1.8%	835	100.0%

平成18年度調査との比較 3

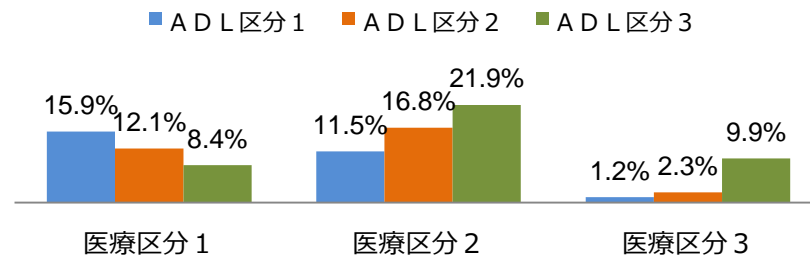
医療療養病床入院患者の医療区分×ADL区分について

医療区分及びADL区分が高くシフト

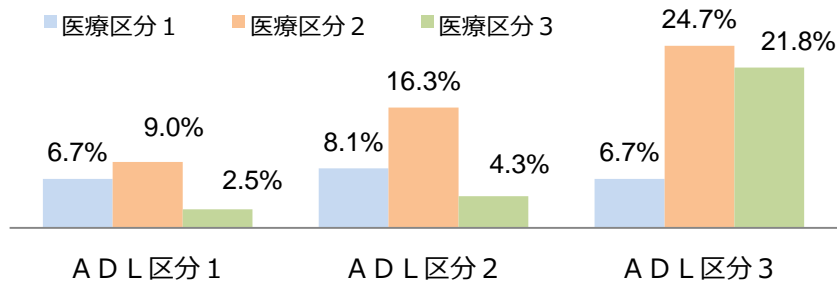
医療療養病床入院患者の医療区分ごとのADL区分 (H27)



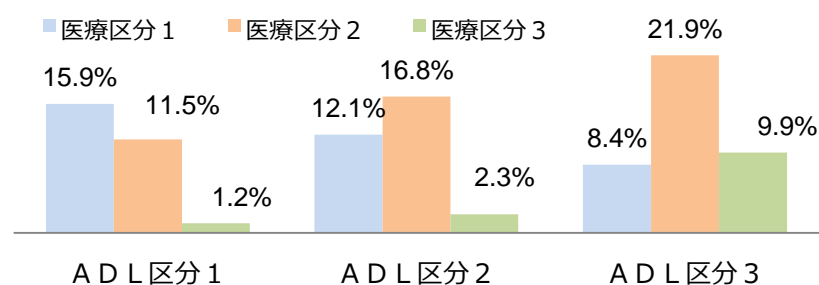
医療療養病床入院患者の医療区分ごとのADL区分 (H18)



医療介護療養病床入院患者のADL区分ごとの医療区分(H27)



医療療養病床入院患者のADL区分ごとの医療区分(H18)



○医療療養病床(H27)

	ADL区分1		ADL区分2		ADL区分3		合計	
医療区分1	231	6.7%	280	8.1%	231	6.7%	742	21.4%
医療区分2	311	9.0%	567	16.3%	858	24.7%	1,736	50.0%
医療区分3	87	2.5%	149	4.3%	756	21.8%	992	28.6%
合計(県)	629	18.1%	996	28.7%	1,845	53.2%	3,470	100.0%

○医療療養病床(H18)

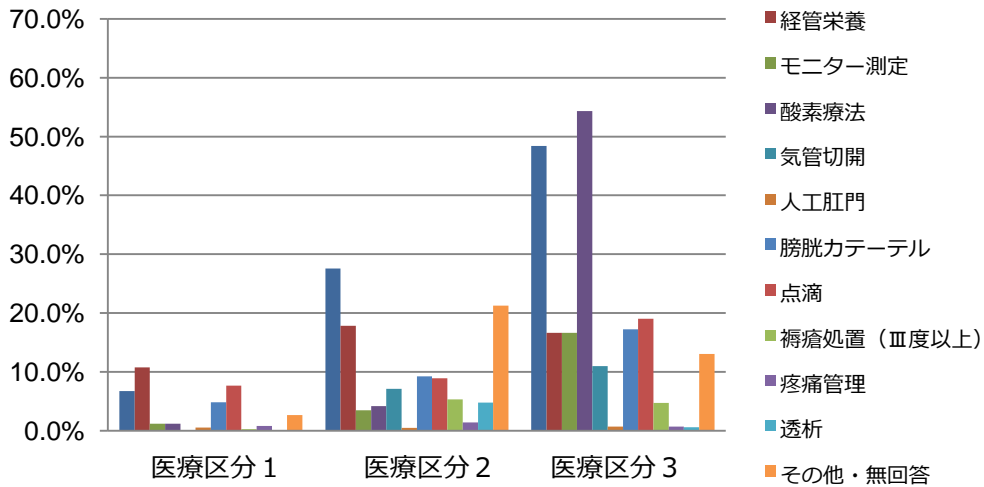
	ADL区分1		ADL区分2		ADL区分3		合計	
医療区分1	623	15.9%	475	12.1%	329	8.4%	1,427	36.3%
医療区分2	453	11.5%	660	16.8%	862	21.9%	1,975	50.3%
医療区分3	47	1.2%	90	2.3%	390	9.9%	527	13.4%
合計(県)	1,123	28.6%	1,225	31.2%	1,581	40.2%	3,929	100.0%

平成18年度調査との比較 4

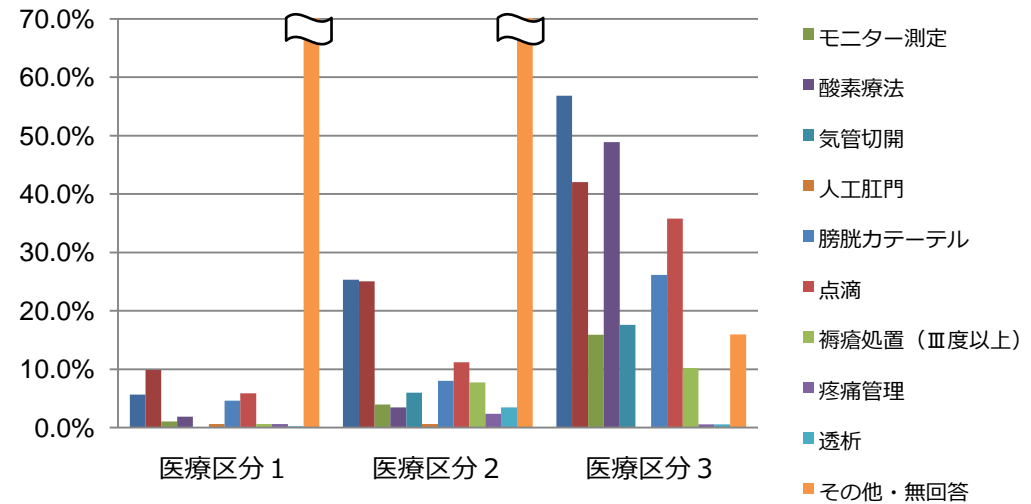
医療療養病床における医療処置について

医療区分3における経管栄養、点滴が増加傾向

医療療養病床入院患者への医療処置（H27）



医療療養病床入院患者への医療処置（H18）



☆H27年度調査（今回調査）

	喀痰吸引		経管栄養		モニター測定		酸素療法		気管切開		人工肛門		膀胱カテーテル		点滴		褥瘡処置（Ⅲ度以上）		疼痛管理		透析		その他・無回答		計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
医療区分1	50	6.7%	80	10.8%	9	1.2%	9	1.2%	0	0.0%	4	0.5%	36	4.9%	57	7.7%	2	0.3%	6	0.8%	0	0.0%	20	2.7%	742
医療区分2	479	27.6%	310	17.9%	61	3.5%	73	4.2%	124	7.1%	9	0.5%	161	9.3%	155	8.9%	93	5.4%	25	1.4%	83	4.8%	158	9.1%	1,736
医療区分3	480	48.4%	165	16.6%	165	16.6%	539	54.3%	109	11.0%	7	0.7%	171	17.2%	189	19.1%	47	4.7%	7	0.7%	6	0.6%	97	9.8%	992
計	1,009	25.3%	555	13.9%	235	5.9%	621	15.6%	233	5.8%	20	0.5%	368	9.2%	401	10.1%	142	3.6%	38	1.0%	89	2.2%	275	6.9%	3,986

☆H18年度（前回調査）

	喀痰吸引		経管栄養		モニター測定		酸素療法		気管切開		人工肛門		膀胱カテーテル		点滴		褥瘡処置（Ⅲ度以上）		疼痛管理		透析		その他・無回答		計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
医療区分1	27	5.7%	47	9.9%	5	1.0%	9	1.9%	0	0.0%	3	0.6%	22	4.6%	28	5.9%	3	0.6%	3	0.6%	1	0.2%	426	89.3%	477
医療区分2	161	25.4%	159	25.0%	25	3.9%	22	3.5%	38	6.0%	4	0.6%	51	8.0%	71	11.2%	49	7.7%	15	2.4%	22	3.5%	429	67.6%	635
医療区分3	100	56.8%	74	42.0%	28	15.9%	86	48.9%	31	17.6%	0	0.0%	46	26.1%	63	35.8%	18	10.2%	1	0.6%	1	0.6%	76	43.2%	176
計	288	13.4%	280	13.1%	58	2.7%	117	5.5%	69	3.2%	7	0.3%	119	5.6%	162	7.6%	70	3.3%	19	0.9%	24	1.1%	931	43.4%	2,144

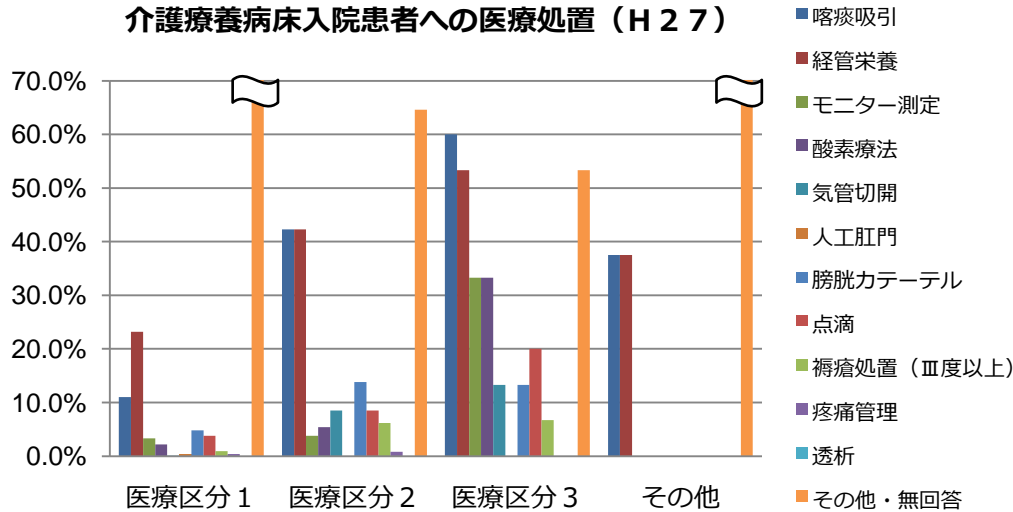
（複数回答）

（複数回答）

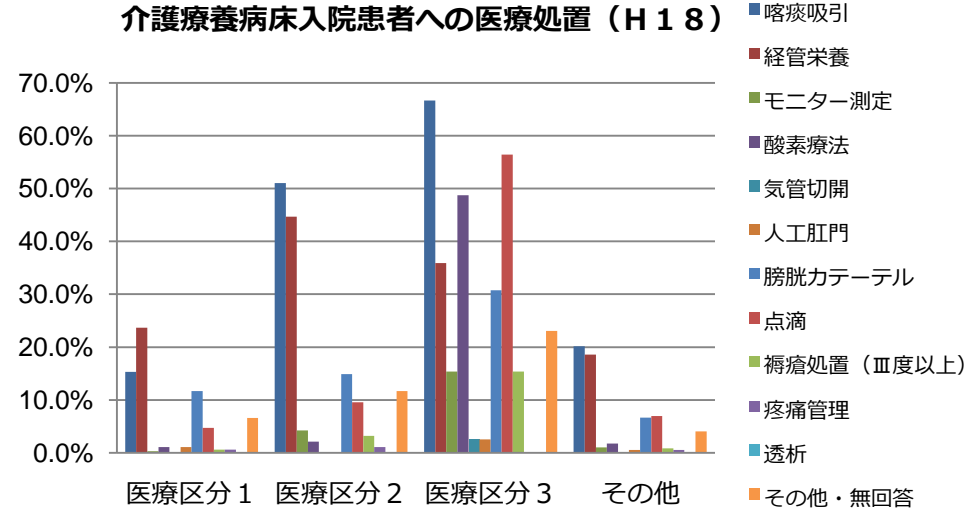
平成18年度調査との比較 5

介護療養病床における医療処置について

介護療養病床入院患者への医療処置（H27）



介護療養病床入院患者への医療処置（H18）



☆ H27年度調査（今回調査）

（複数回等）

	喀痰吸引		経管栄養		モニター測定		酸素療法		気管切開		人工肛門		膀胱カテーテル		点滴		褥瘡処置（Ⅲ度以上）		疼痛管理		透析		その他・無回答		
医療区分1	76	11.0%	160	23.2%	23	3.3%	15	2.2%	1	0.1%	2	0.3%	33	4.8%	26	3.8%	6	0.9%	3	0.4%	0		574	83.2%	690
医療区分2	55	42.3%	55	42.3%	5	3.8%	7	5.4%	11	8.5%	0		18	13.8%	11	8.5%	8	6.2%	1	0.8%	0		84	64.6%	130
医療区分3	9	60.0%	8	53.3%	5	33.3%	5	33.3%	2	13.3%	0		2	13.3%	3	20.0%	1	6.7%	0		0		8	53.3%	15
その他	6	37.5%	6	37.5%	0		0		0		0		0		0		0		0		0		16	100.0%	16
計	146	17.2%	229	26.9%	33	3.9%	27	3.2%	14	1.6%	2	0.2%	53	6.2%	40	4.7%	15	1.8%	4	0.5%	0		682	71.3%	851

☆ H18年度（前回調査）

（複数回等）

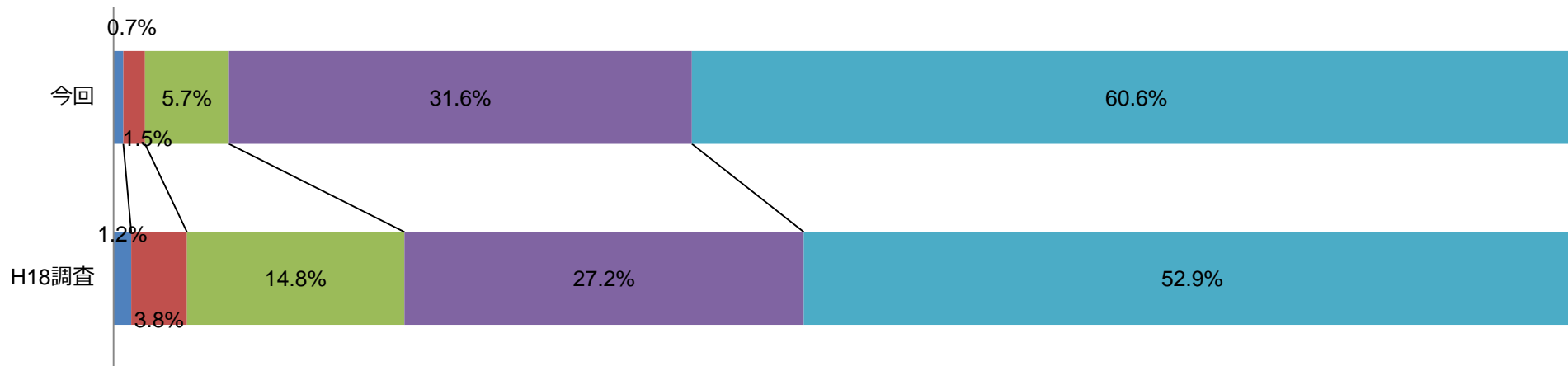
	喀痰吸引		経管栄養		モニター測定		酸素療法		気管切開		人工肛門		膀胱カテーテル		点滴		褥瘡処置（Ⅲ度以上）		疼痛管理		透析		その他・無回答		
医療区分1	97	15.3%	150	23.7%	2	0.3%	7	1.1%	0	0.0%	7	1.1%	74	11.7%	30	4.7%	4	0.6%	4	0.6%	1	0.2%	42	6.6%	634
医療区分2	48	51.1%	42	44.7%	4	4.3%	2	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	14	14.9%	9	9.6%	3	3.2%	1	1.1%	0	0.0%	11	11.7%	94
医療区分3	26	66.7%	14	35.9%	6	15.4%	19	48.7%	1	2.6%	1	2.6%	12	30.8%	22	56.4%	6	15.4%	0	0.0%	0	0.0%	9	23.1%	39
その他	215	20.2%	198	18.6%	11	1.0%	19	1.8%	0	0.0%	6	0.6%	71	6.7%	74	6.9%	9	0.8%	6	0.6%	0	0.0%	43	4.0%	1,065
計	386	21.1%	404	22.1%	23	1.3%	47	2.6%	1	0.1%	14	0.8%	171	9.3%	135	7.4%	22	1.2%	11	0.6%	1	0.1%	105	5.7%	1,832

平成18年度調査との比較 6

介護療養病床入院患者の介護度について

要介護4・5割合が増加している

■要介護1 ■要介護2 ■要介護3 ■要介護4 ■要介護5



○介護療養病床

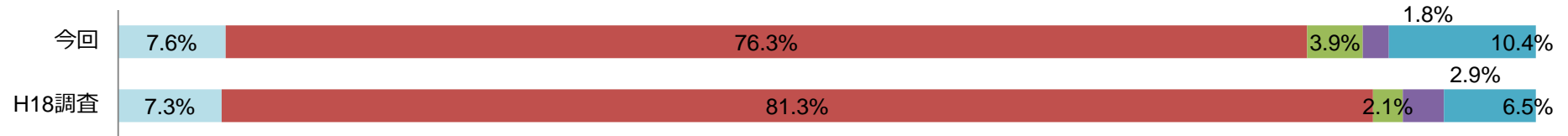
	要支援1・2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
今回	0	0.0%	12	0.7%	27	1.5%	104	5.7%	574	31.6%	1,102	60.6%	1,819	100%
H18調査	1	0.0%	33	1.2%	101	3.8%	396	14.8%	726	27.2%	1,413	52.9%	2,671	100%

平成18年度調査との比較 7

住居と世帯の状況について

大きな変化はなし

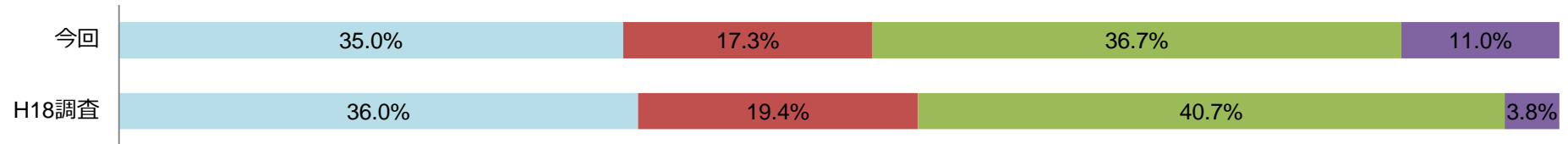
■なし ■自宅 ■特養等からの一時的入院 ■その他 ■不明・無回答



住居の状況

	なし		自宅		特養等からの一時的入院		その他		不明		無回答等		合計	
今回	407	7.6%	4,100	76.3%	211	3.9%	99	1.8%	438	8.2%	119	2.2%	5,374	100%
H18調査	157	7.3%	1,738	81.3%	44	2.1%	61	2.9%	139	6.5%			2,139	100%

■単身世帯 ■高齢者のみの世帯 ■その他の世帯 ■不明・無回答



世帯の状況

	単身世帯		高齢者のみの世帯		その他の世帯		不明		無回答		合計	
今回	1,881	35.0%	930	17.3%	1,973	36.7%	381	7.1%	209	3.9%	5,374	100%
H18調査	771	36.0%	416	19.4%	870	40.7%	82	3.8%			2,139	100%

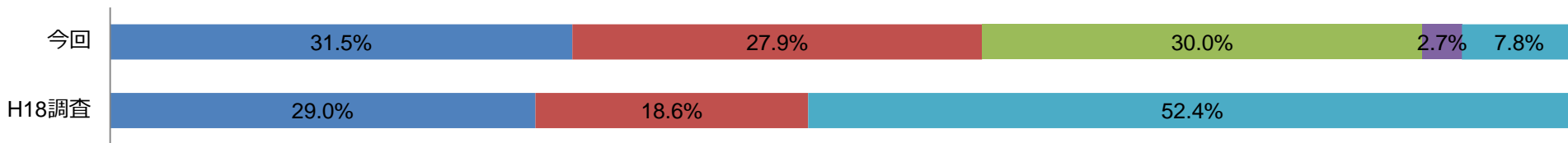
平成18年度調査との比較 8

所得等の状況について

低所得割合は増加

☆医療療養病床

■低所得Ⅰ ■低所得Ⅱ ■一般 ■現役並み ■その他



	低所得Ⅰ		低所得Ⅱ		一般		現役並み		その他		合計	
今回	1085	31.5%	962	27.9%	1033	30.0%	93	2.7%	269	7.8%	3442	100%
H18調査	374	29.0%	239	18.6%					675	52.4%	1288	100%

☆介護療養病床

■利用者負担第1段階 ■利用者負担第2段階 ■利用者負担第3段階 ■利用者負担第4段階



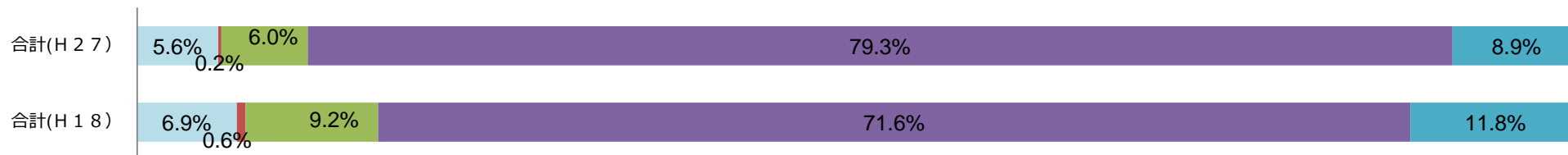
	第1段階 (利用者負担)		第2段階 (利用者負担)		第3段階 (利用者負担)		第4段階 (利用者負担)		合計	
今回	154	8.7%	743	41.8%	309	17.4%	570	32.1%	1,776	100%
H18調査	109	12.8%	329	38.7%	107	12.6%	306	36.0%	851	100%

平成18年度調査との比較 9

家庭での介護者の状況について

日中・夜間介護力のない割合が増加

- 日中、夜間とも介護できる人がいる。
- 日中のみ、介護できる人がいる
- 夜間のみ、介護できる人がいる
- 日中、夜間とも介護できる人がいない
- その他・不明



☆医療療養病床

	日中、夜間とも 介護できる人がいる。		日中のみ、 介護できる人がいる		夜間のみ、 介護できる人がいる		日中、夜間とも 介護できる人がいない		その他・不明		合計	
今回	246	7.5%	10	0.3%	218	6.7%	2,518	77.3%	267	8.2%	3,259	100%
H18調査	104	8.1%	8	0.6%	127	9.9%	867	67.3%	182	14.1%	1,288	

☆介護療養病床

	日中、夜間とも 介護できる人がいる。		日中のみ、 介護できる人がいる		夜間のみ、 介護できる人がいる		日中、夜間とも 介護できる人がいない		その他・不明		合計	
今回	37	2.1%	1	0.1%	84	4.7%	1,483	83.1%	180	10.1%	1,785	100%
H18調査	44	5.2%	4	0.5%	69	8.1%	665	78.1%	69	8.2%	851	

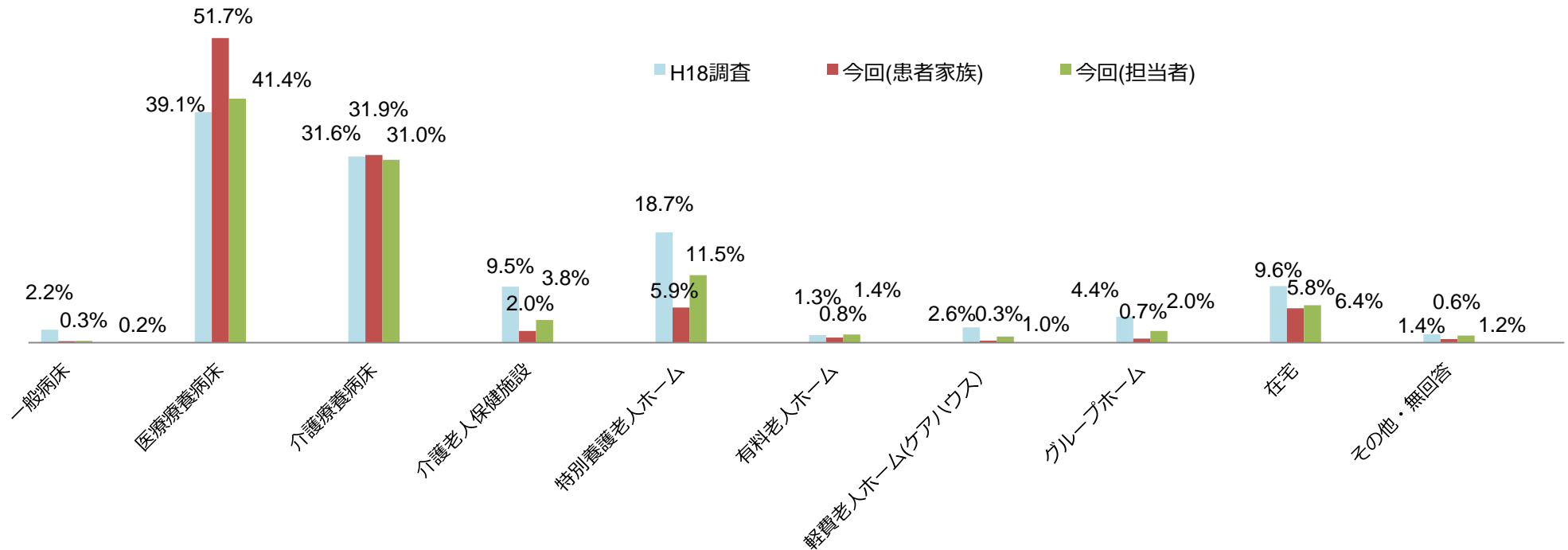
☆医療療養病床と介護療養病床の合計

	日中、夜間とも 介護できる人がいる。		日中のみ、 介護できる人がいる		夜間のみ、 介護できる人がいる		日中、夜間とも 介護できる人がいない		その他・不明		合計	
今回	283	5.6%	11	0.2%	302	6.0%	4,001	79.3%	447	8.9%	5,044	100%
H18調査	148	6.9%	12	0.6%	196	9.2%	1,532	71.6%	251	11.8%	2,139	

平成18年度調査との比較 10

望ましい施設について

介護療養病床以外ではズレが生じている



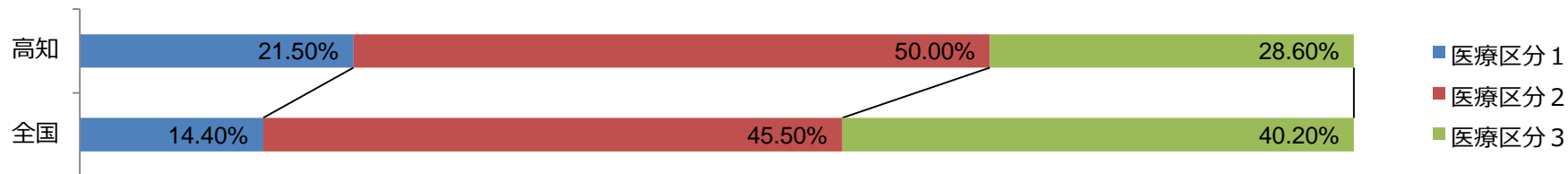
医療と介護の合計

	一般病床	医療療養病床	介護療養病床	介護老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	軽費老人ホーム(ケアハウス)	グループホーム	在宅	その他・無回答
今回(患者家族)	0.2%	51.7%	31.9%	2.0%	5.9%	0.8%	0.3%	0.7%	5.8%	0.6%
今回(担当者)	0.3%	41.4%	31.0%	3.8%	11.5%	1.4%	1.0%	2.0%	6.4%	1.2%
H18調査	2.2%	39.1%	31.6%	9.5%	18.7%	1.3%	2.6%	4.4%	9.6%	1.4%

全国調査との比較 1

医療区分とADL（日常生活自立度）区分について

<医療療養病床の医療区分割合>



医療療養病床 <高知県>

n=3,470

	ADL区分1	ADL区分2	ADL区分3	計
医療区分1	6.7%	8.1%	6.7%	21.5%
医療区分2	9.0%	16.3%	24.7%	50.0%
医療区分3	2.5%	4.3%	21.8%	28.6%
計	18.1%	28.7%	53.2%	100.0%

医療療養病床 <全国>

n=12,410

	ADL区分1	ADL区分2	ADL区分3	計
医療区分1	3.2%	5.2%	6.0%	14.4%
医療区分2	5.0%	12.3%	28.2%	45.5%
医療区分3	2.5%	7.8%	29.9%	40.2%
計	10.6%	25.3%	64.0%	100.0%

介護療養病床

n=718

	ADL区分1	ADL区分2	ADL区分3	計
医療区分1	6.4%	26.9%	48.9%	82.2%
医療区分2	0.1%	1.9%	10.7%	12.8%
医療区分3	0.0%	0.1%	4.9%	5.0%
計	6.5%	29.0%	64.5%	100.0%

介護療養病床

n=1,746

	ADL区分1	ADL区分2	ADL区分3	計
医療区分1	8.3%	17.0%	34.6%	59.9%
医療区分2	1.5%	9.5%	18.8%	29.8%
医療区分3	3.5%	0.9%	6.0%	10.4%
計	13.3%	27.3%	59.5%	100.0%

療養病床実態調査アンケート(高知県H27.12.11)

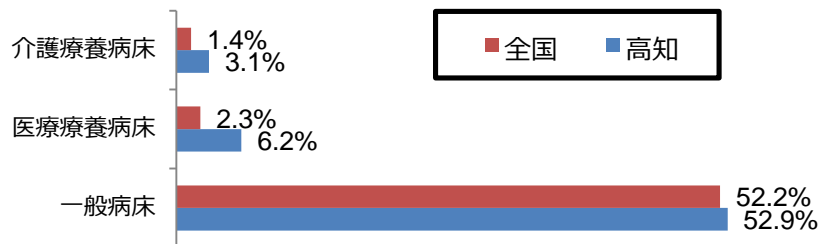
日本慢性期医療協会医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査
調査日：平成27年5月31日
調査対象：日本慢性期医療協会正会員1143件

- ・医療療養病床では、医療区分3の割合は全国に比べて低く、医療区分1の割合が高い。
→全国と比べて療養病床の転換対象割合が大きくなると予想される。

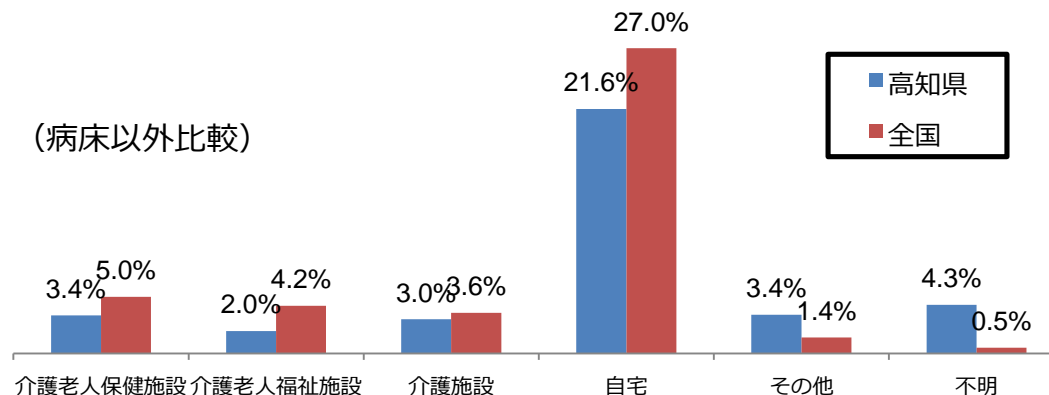
全国調査との比較 2

医療療養病床への入院経路について

(病床種別比較)



(病床以外比較)



<高知県>

医療療養病床 n=3,542

一般病床	52.9%
医療療養病床	6.2%
介護療養病床	3.1%
介護老人保健施設	0.0%
介護老人福祉施設	3.4%
有料老人ホーム	2.0%
軽費老人ホーム (ケアハウス)	1.2%
認知症高齢者グループホーム	0.4%
サービス付き高齢者住宅	1.2%
自宅	0.3%
その他	21.6%
不明	3.4%
未記入	0.9%
合計	100.0%

<全国>

医療療養病床 n=1,966

一般病床	52.2%
医療療養病床	2.3%
介護療養病床	1.4%
その他の病床	2.3%
介護老人保健施設	5.0%
介護老人福祉施設	4.2%
その他の介護施設等	3.6%
自宅	27.0%
それ以外	1.4%
無回答	0.5%
合計	99.9%

比較

	高知県 (%)	全国 (%)
医療機関	62.3%	58.2%
介護老人保健施設	3.4%	5.0%
介護老人福祉施設	2.0%	4.2%
介護施設	3.0%	3.6%
自宅	21.6%	27.0%
その他	3.4%	1.4%
不明	4.3%	0.5%
合計	100.0%	99.9%

療養病床実態調査アンケート(高知県H27.12.11)

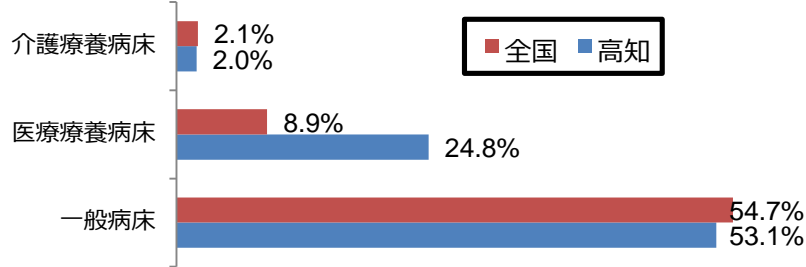
出典)平成24年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査(平成26年度調査)
「介護サービス事業所における医療職の勤務実態および医療・看護の提供実態に関する横断的な調査研究事業報告書」

・医療療養病床や介護療養病床からの入院経路割合が高い。
⇒一部の患者は療養病床間を移動していると考えられる。

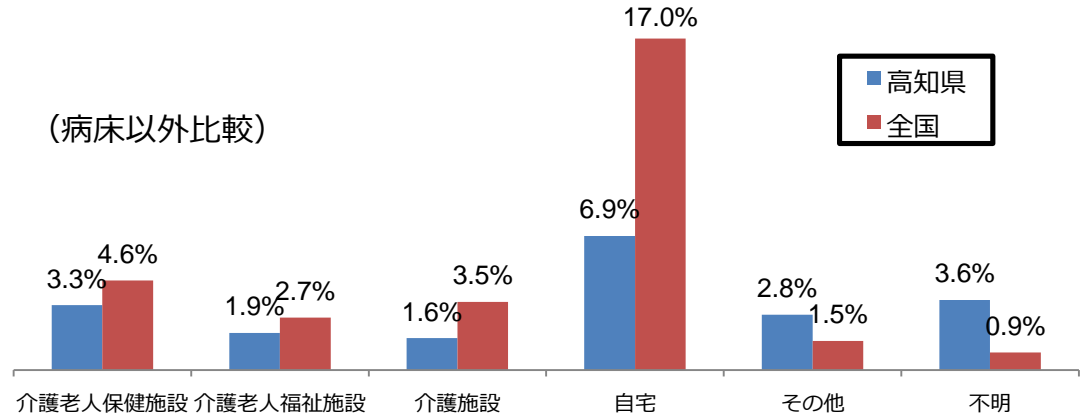
全国調査との比較 3

介護療養病床への入院経路について

(病床種別比較)



(病床以外比較)



<高知県>

介護療養病床 n=1,832

一般病床	53.1%
医療療養病床	24.8%
介護療養病床	2.0%
	0.0%
介護老人保健施設	3.3%
介護老人福祉施設	1.9%
有料老人ホーム	0.4%
軽費老人ホーム (ケアハウス)	0.3%
認知症高齢者グループホーム	0.6%
サービス付き高齢者住宅	0.4%
自宅	6.9%
その他	2.8%
不明	1.9%
未記入	1.7%
合計	100.0%

<全国>

介護療養病床 n=3,992

一般病床	54.7%
医療療養病床	8.9%
介護療養病床	2.1%
その他の病床	4.2%
介護老人保健施設	4.6%
介護老人福祉施設	2.7%
その他の介護施設等	3.5%
自宅	17.0%
それ以外	1.5%
無回答	0.9%
合計	100.1%

比較

	高知県	全国
医療機関	79.8%	69.9%
介護老人保健施設	3.3%	4.6%
介護老人福祉施設	1.9%	2.7%
介護施設	1.6%	3.5%
自宅	6.9%	17.0%
その他	2.8%	1.5%
不明	3.6%	0.9%
合計	100.0%	100.1%

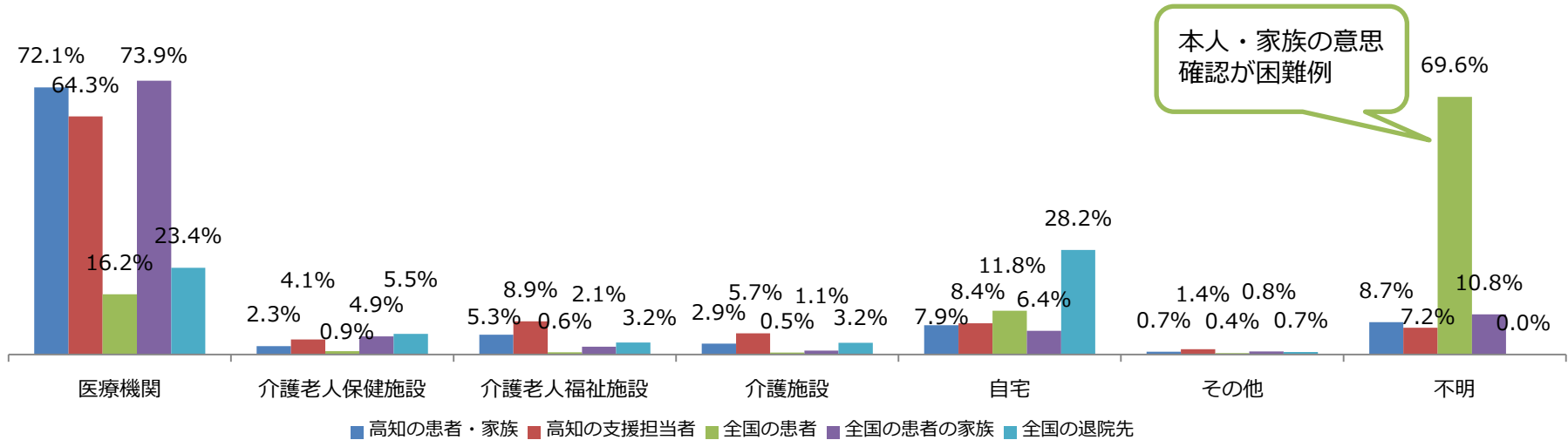
療養病床実態調査アンケート(高知県H27.12.11)

出典)平成24年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査(平成26年度調査)
「介護サービス事業所における医療職の勤務実態および医療・看護の提供実態に関する
横断的な調査研究事業報告書」

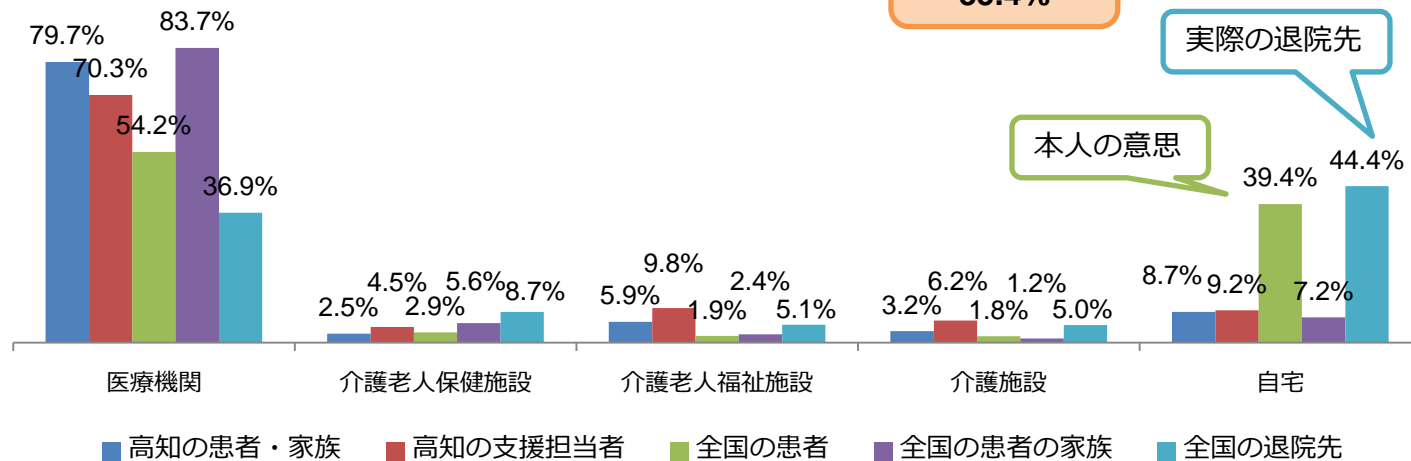
・医療療養病床からの入院経路割合が高く、自宅からの入院割合が低い。
⇒医療療養病床の受け皿となっていると考えられる。

全国調査との比較 4

希望する療養先について（医療療養）



（上記のうち、その他・不明を除いた比較）



全国調査との比較 5

希望する療養先について（医療療養）

（高知県出典）
療養病床実態調査アンケート
（高知県H27.12.11）

（全国出典）
平成25年度老人保健事業推進費等補助金『医療ニーズを有する高齢者の実態に関する横断的な調査研究事業報告書（平成26年（2014年）3月）』（公益社団法人全日本病院協会）

<高知県>

医療療養病床 n = 3,285

	患者 家族	支援 担当者
一般病床	0.3%	0.3%
医療療養病床	68.9%	57.0%
介護療養病床	3.0%	6.9%
介護老人保健施設	2.3%	4.1%
介護老人福祉施設	5.3%	8.9%
有料老人ホーム	1.2%	1.8%
軽費老人ホーム （ケアハウス）	0.5%	1.2%
認知症高齢者グ ループホーム	0.9%	1.7%
サービス付き高齢 者住宅	0.5%	1.0%
自宅	7.9%	8.4%
その他	0.7%	1.4%
不明	6.6%	7.2%
未記入	2.2%	0.0%
合計	100.0 %	100.0 %

<全国>

今後の生活・療養の場に関する希望家族（医療療養病棟） n = 4,154

	患者	患者の 家族	退院先
他の医療機関での療養を希望	0.3%	2.4%	19.9%
現在の療養場所での療養を希望	15.9%	71.5%	3.5%
介護老人保健施設での療養を希望	0.9%	4.9%	5.5%
介護老人福祉施設での療養を希望	0.6%	2.1%	3.2%
その他施設（ケア付き住宅等）での療養を希望	0.5%	0.8%	2.7%
グループホームでの療養を希望	0.0%	0.3%	0.5%
自宅での療養を希望	11.8%	6.4%	28.2%
その他	0.4%	0.8%	0.7%
家族はいない（意志表示不能）	52.3%	1.9%	
希望は把握していない	15.2%	6.9%	
無回答	2.1%	2.0%	
死亡			35.4%

比較 高知県 高知県 全国 全国 全国

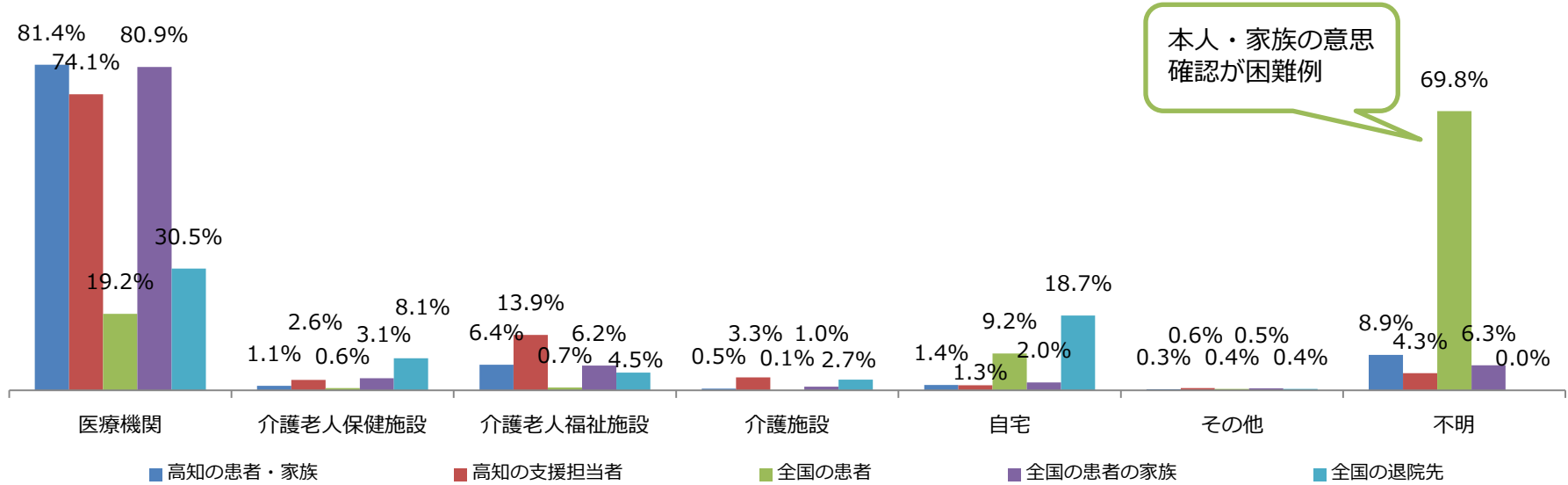
	患者 家族	支援 担当者	患者	患者の 家族	退院先
医療機関	72.1%	64.3%	16.2%	73.9%	23.4%
介護老人保健施設	2.3%	4.1%	0.9%	4.9%	5.5%
介護老人福祉施設	5.3%	8.9%	0.6%	2.1%	3.2%
介護施設	2.9%	5.7%	0.5%	1.1%	3.2%
自宅	7.9%	8.4%	11.8%	6.4%	28.2%
その他	0.7%	1.4%	0.4%	0.8%	0.7%
不明	8.7%	7.2%	69.6%	10.8%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	64.2%

【その他・不明を除いて集計】

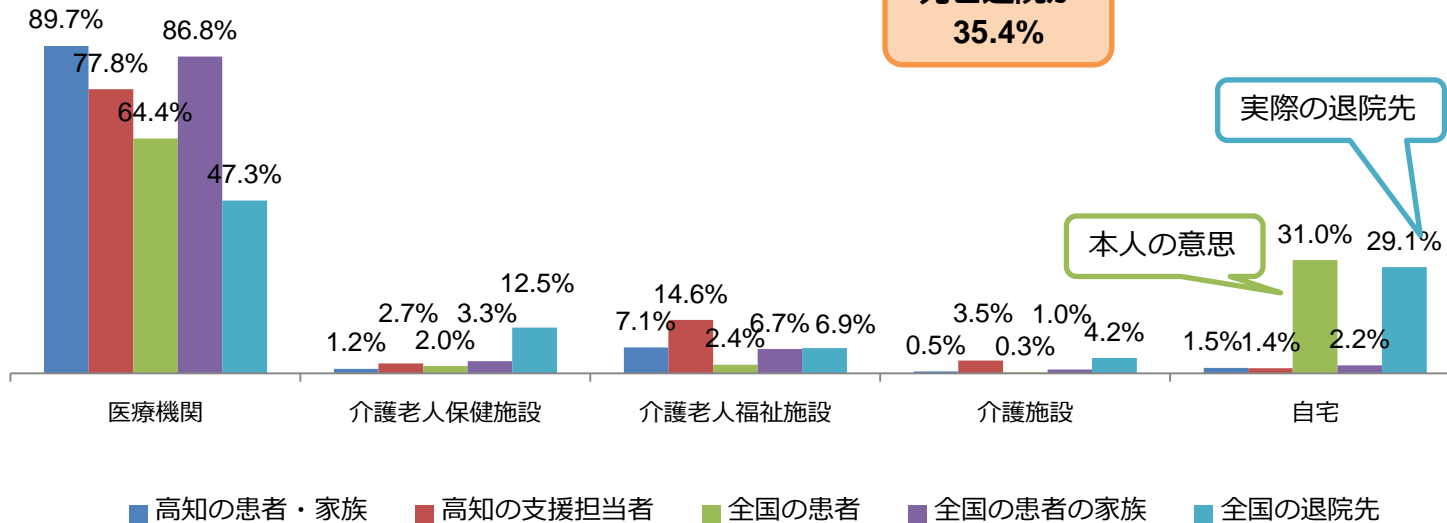
	患者家 族	支援担 当者	患者	患者の 家族	退院先
医療機関	79.7%	70.3%	54.2%	83.7%	36.9%
介護老人保健施設	2.5%	4.5%	2.9%	5.6%	8.7%
介護老人福祉施設	5.9%	9.8%	1.9%	2.4%	5.1%
介護施設	3.2%	6.2%	1.8%	1.2%	5.0%
自宅	8.7%	9.2%	39.4%	7.2%	44.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

全国調査との比較 6

希望する療養先について（介護療養）



（上記のうち、その他・不明を除いた比較）



全国調査との比較 7

希望する療養先について（介護療養）

（高知県出典）
療養病床実態調査アンケート
（高知県H27.12.11）

（全国出典）
平成25年度老人保健事業推進費等補助金『医療ニーズを有する高齢者の実態に関する横断的な調査研究事業報告書（平成26年（2014年）3月）』（公益社団法人全日本病院協会）

<高知県>

介護療養病床 n = 1,765

	患者家族	支援担当者
一般病床	0.2%	0.2%
医療療養病床	2.0%	4.1%
介護療養病床	79.2%	69.8%
介護老人保健施設	1.1%	2.6%
介護老人福祉施設	6.4%	13.9%
有料老人ホーム	0.1%	0.3%
軽費老人ホーム（ケアハウス）	0.1%	0.6%
認知症高齢者グループホーム	0.2%	2.2%
サービス付き高齢者住宅	0.1%	0.2%
自宅	1.4%	1.3%
その他	0.3%	0.6%
不明	7.3%	4.3%
未記入	1.6%	0.0%
合計	100.0%	100.0%

<全国>

今後の生活・療養の場に関する希望家族（介護療養病床） n = 2,635

	患者	患者の家族	退院先
他の医療機関での療養を希望	0.1%	1.2%	27.2%
現在の療養場所での療養を希望	19.1%	79.7%	3.3%
介護老人保健施設での療養を希望	0.6%	3.1%	8.1%
介護老人福祉施設での療養を希望	0.7%	6.2%	4.5%
その他施設（ケア付き住宅等）での療養を希望	0.1%	0.7%	2.1%
グループホームでの療養を希望	0.0%	0.3%	0.6%
自宅での療養を希望	9.2%	2.0%	18.7%
その他	0.4%	0.5%	0.4%
家族はいない（意思表示不能）	56.5%	2.0%	
希望は把握していない	12.0%	2.8%	
無回答	1.4%	1.5%	
死亡			35.4%

比較 高知県 高知県 全国 全国 全国

	患者家族	支援担当者	患者	患者の家族	退院先
医療機関	81.4%	74.1%	19.2%	80.9%	30.5%
介護老人保健施設	1.1%	2.6%	0.6%	3.1%	8.1%
介護老人福祉施設	6.4%	13.9%	0.7%	6.2%	4.5%
介護施設	0.5%	3.3%	0.1%	1.0%	2.7%
自宅	1.4%	1.3%	9.2%	2.0%	18.7%
その他	0.3%	0.6%	0.4%	0.5%	0.4%
不明	8.9%	4.3%	69.8%	6.3%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	64.8%

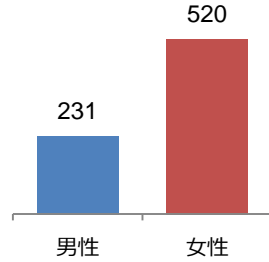
【その他・不明を除いて集計】

	患者家族	支援担当者	患者	患者の家族	退院先
医療機関	89.7%	77.8%	64.4%	86.8%	47.3%
介護老人保健施設	1.2%	2.7%	2.0%	3.3%	12.5%
介護老人福祉施設	7.1%	14.6%	2.4%	6.7%	6.9%
介護施設	0.5%	3.5%	0.3%	1.0%	4.2%
自宅	1.5%	1.4%	31.0%	2.2%	29.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

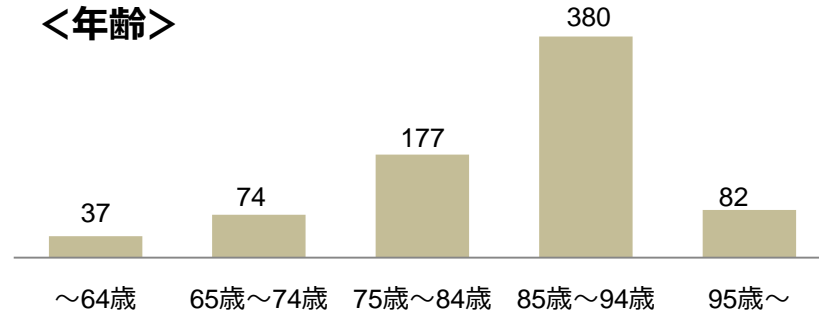
医療区分 1 & 介護療養病床 入院患者分析 1

医療療養病床の医療区分 1 の内訳

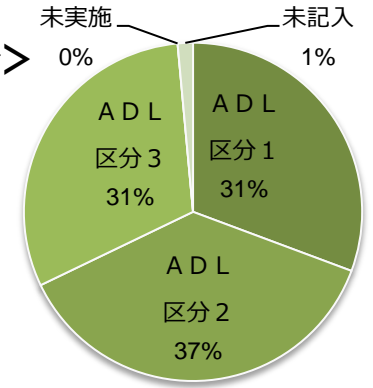
<性別>



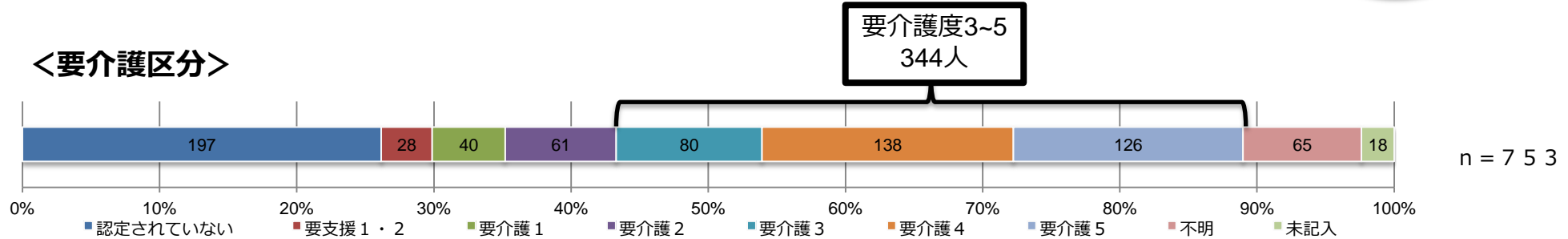
<年齢>



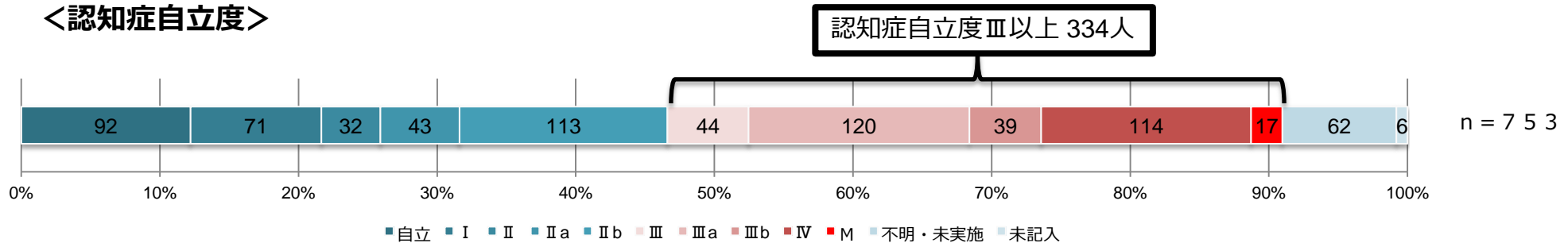
<ADL区分>



<要介護区分>



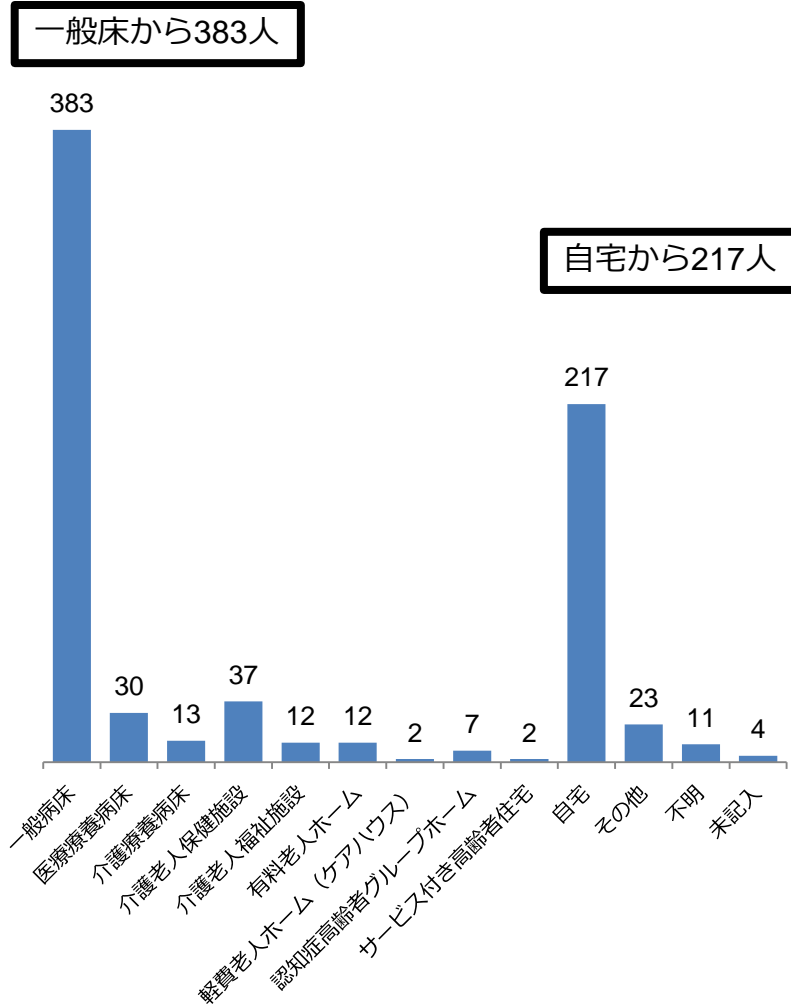
<認知症自立度>



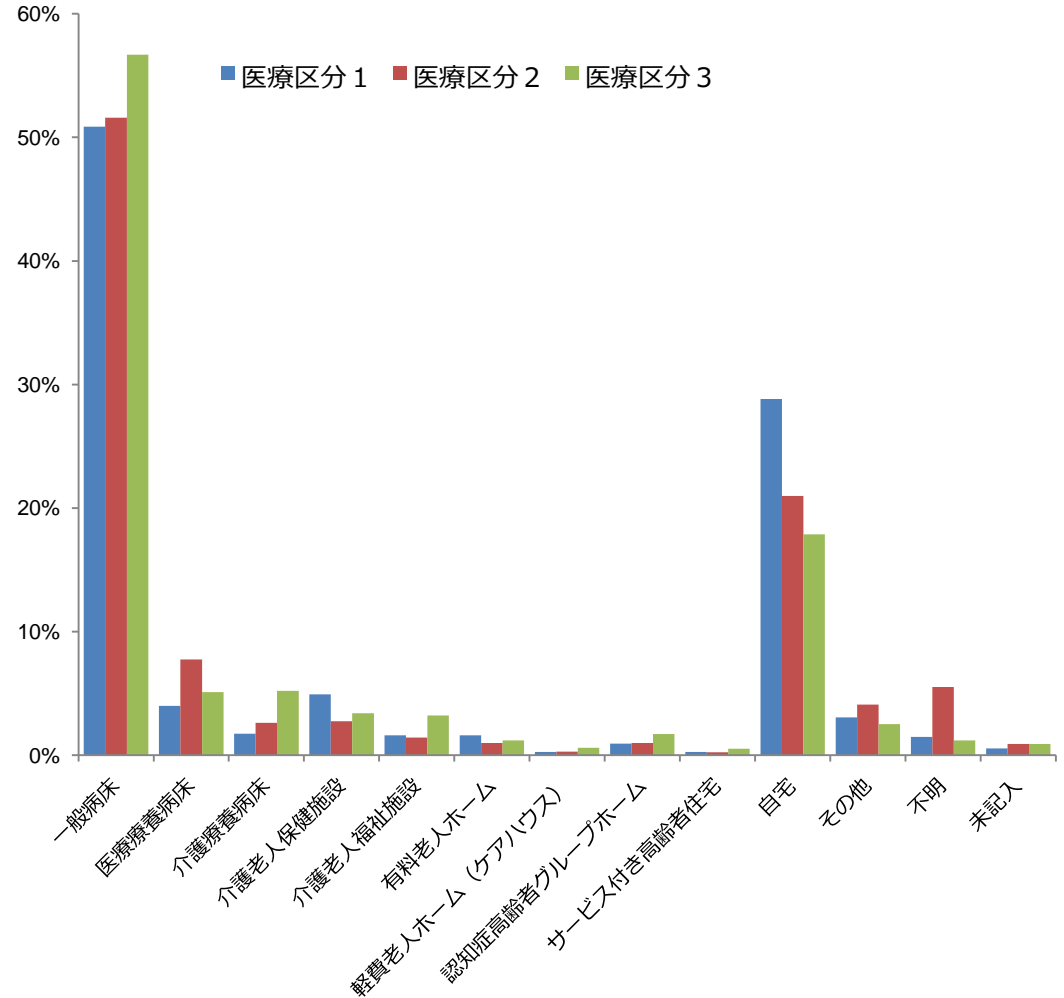
医療区分 1 & 介護療養病床 入院患者分析 2

医療療養病床の医療区分 1 の内訳

<入院経路別人数> n = 753



<医療区分別 入院経路割合の比較>

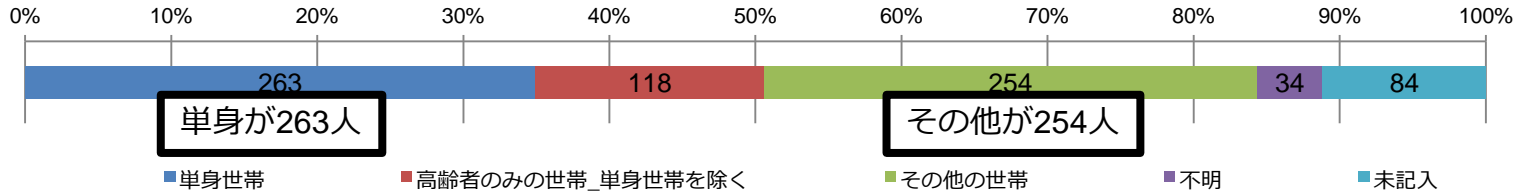


医療区分 1 & 介護療養病床 入院患者分析 3

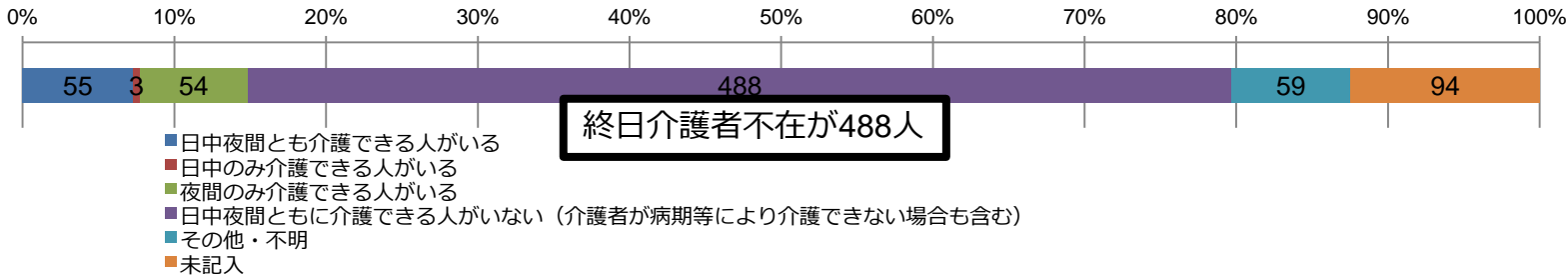
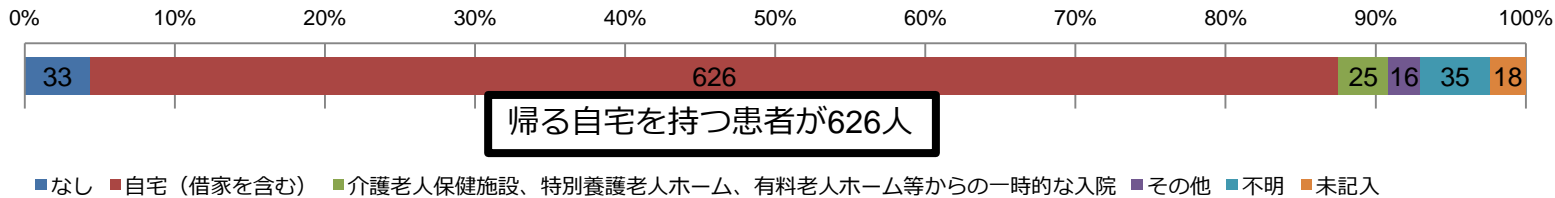
医療療養病床の医療区分 1 の内訳

n = 753

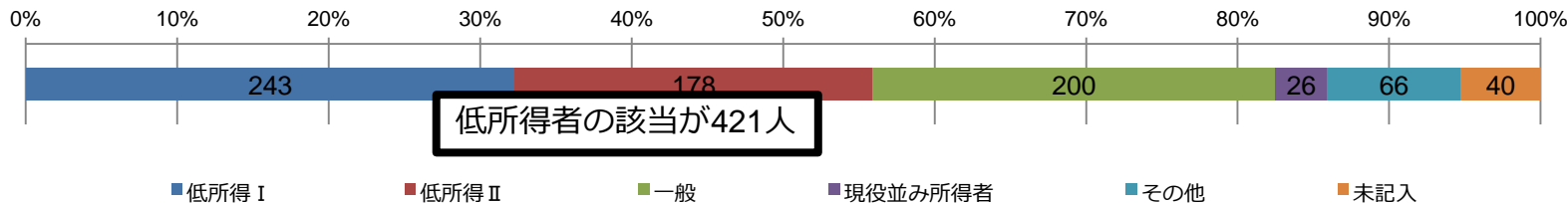
<世帯の状況>



<家庭介護力の状況>



<所得の状況>

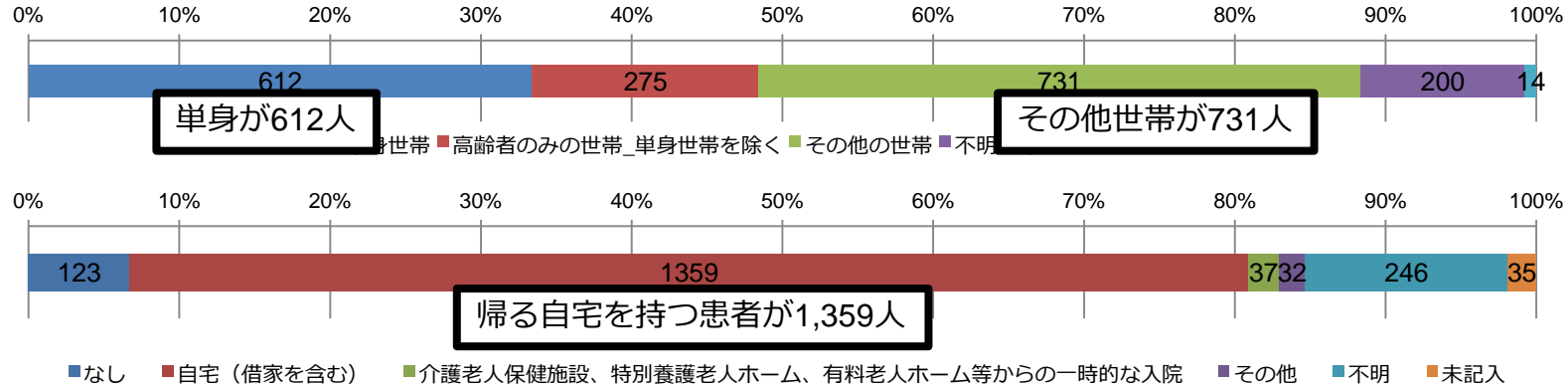


医療区分1 & 介護療養病床 入院患者分析 4

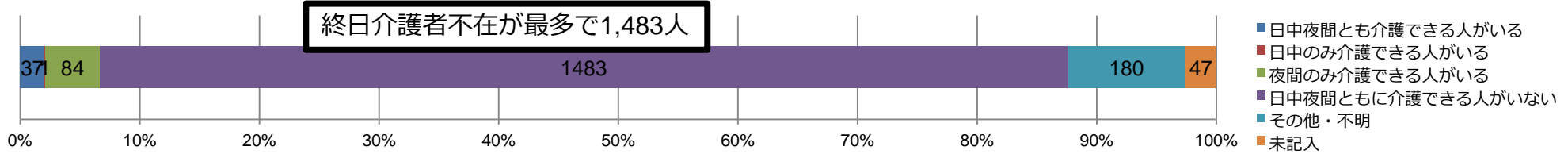
介護療養病床の内訳

n = 1,832

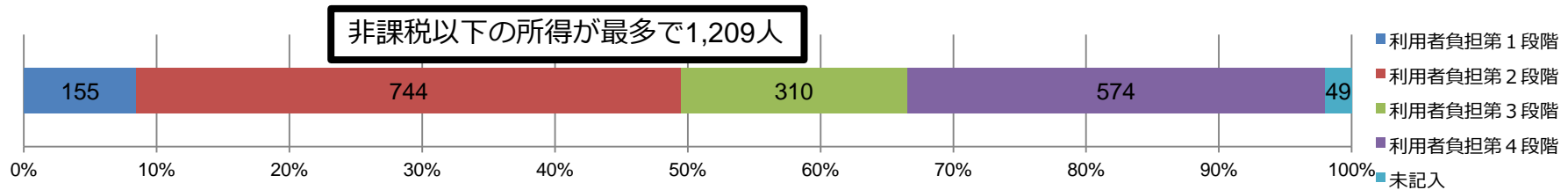
<世帯の状況>



<家庭介護力の状況>



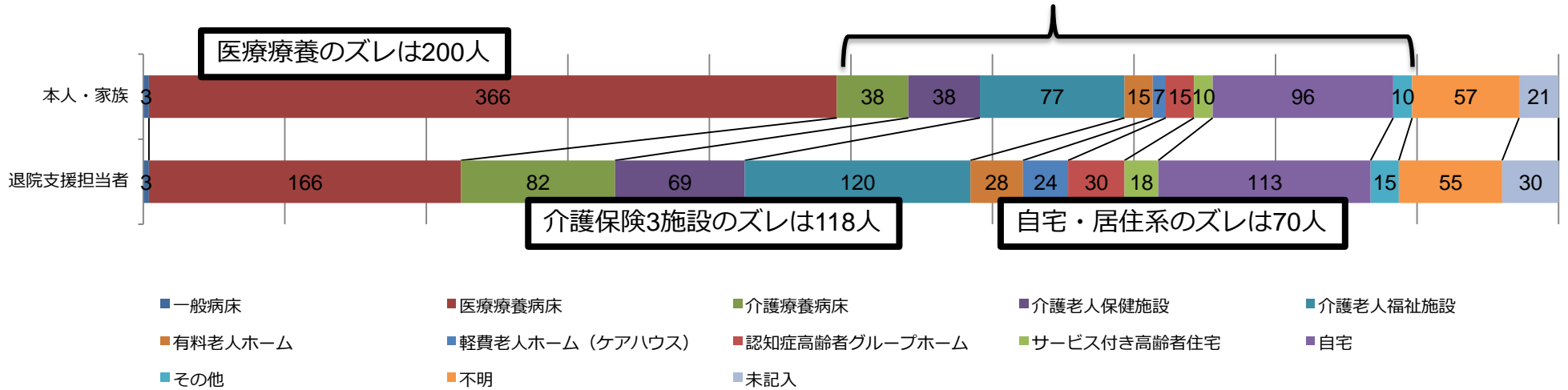
<所得の状況>



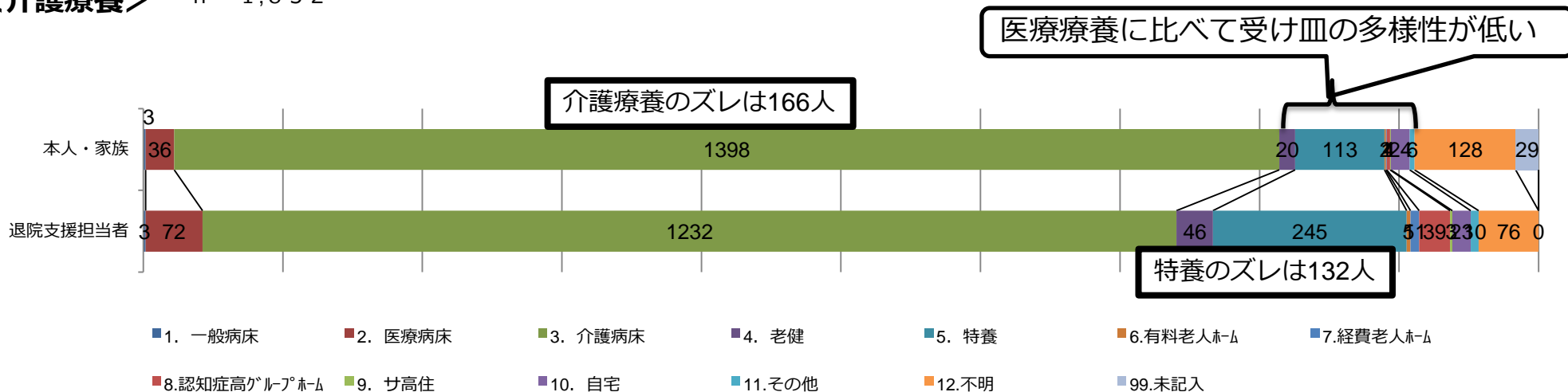
医療区分1 & 介護療養病床 入院患者分析 5

望ましい療養環境の比較

<医療療養の医療区分1> n = 753



<介護療養> n = 1,832

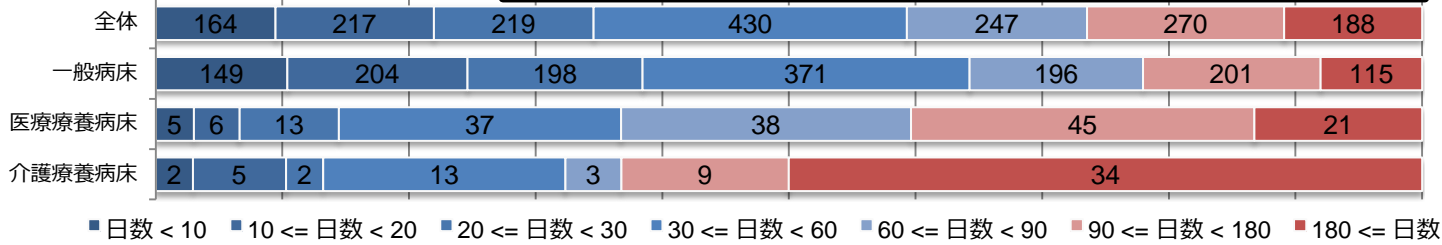


特別集計 1

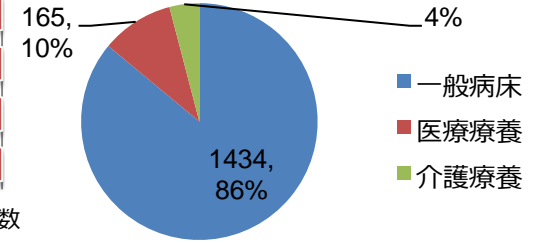
前の医療機関の在院日数と行き先について

(医療療養 n=1,735)

一般病床が最多86%を占め、在院日数は90日以上が2割以上

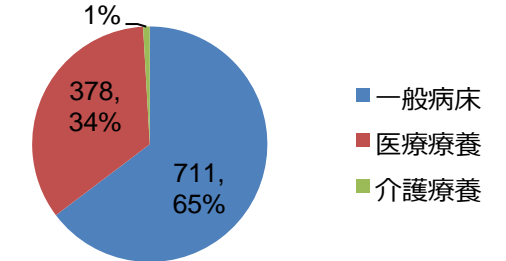
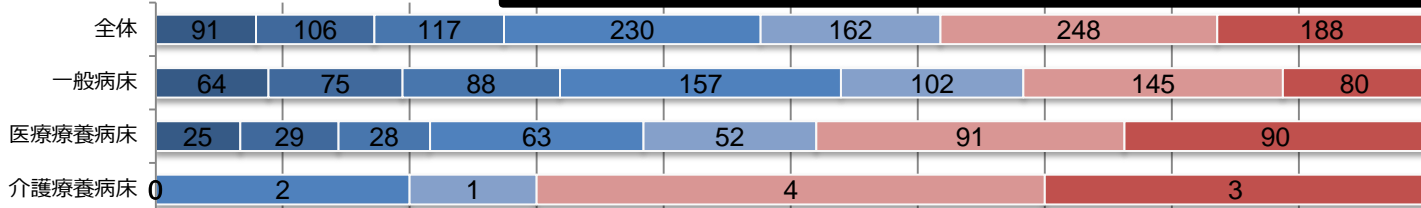


(全体の内訳)



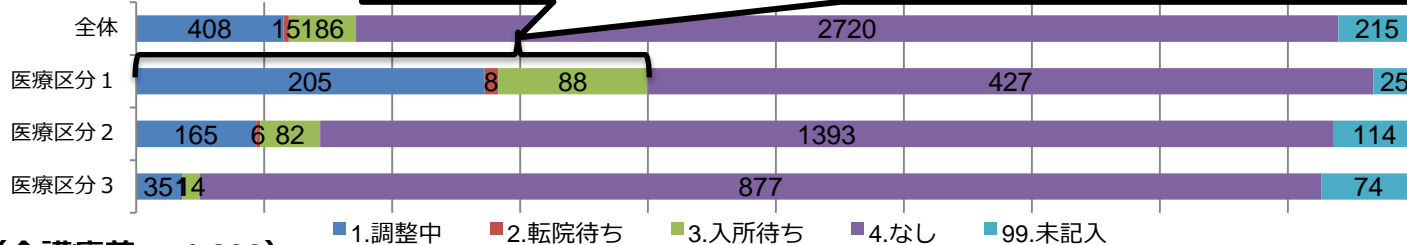
(介護療養 n=1,142)

一般病床が最多65%を占め、在院日数は90日以上が4割弱
医療療養から介護療養への流れが34%



(医療療養 n=3,544)

医療区分1の4割程度は次の行き先について何かしらの対応が取られている

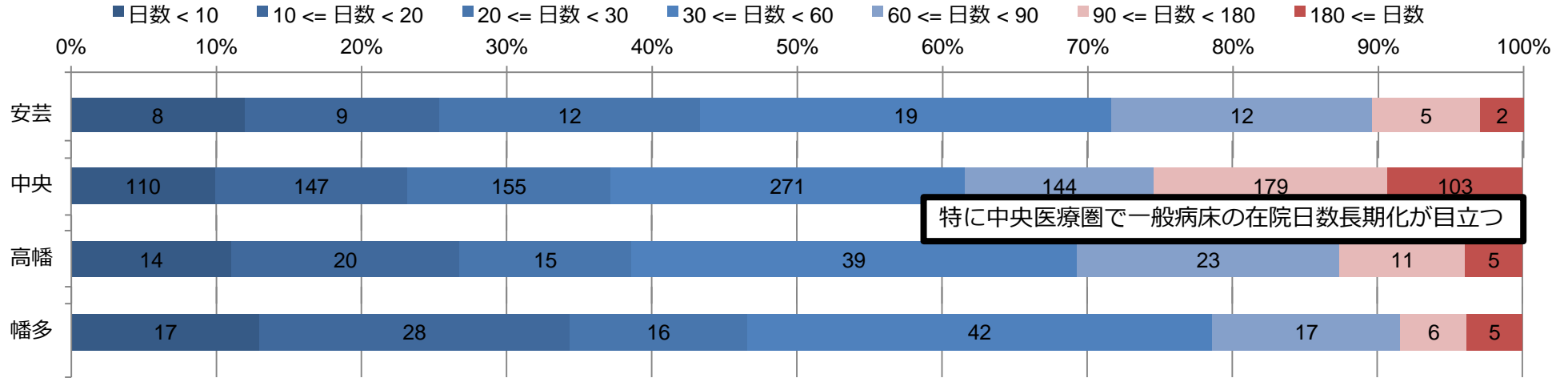


(介護療養 n=1,826)

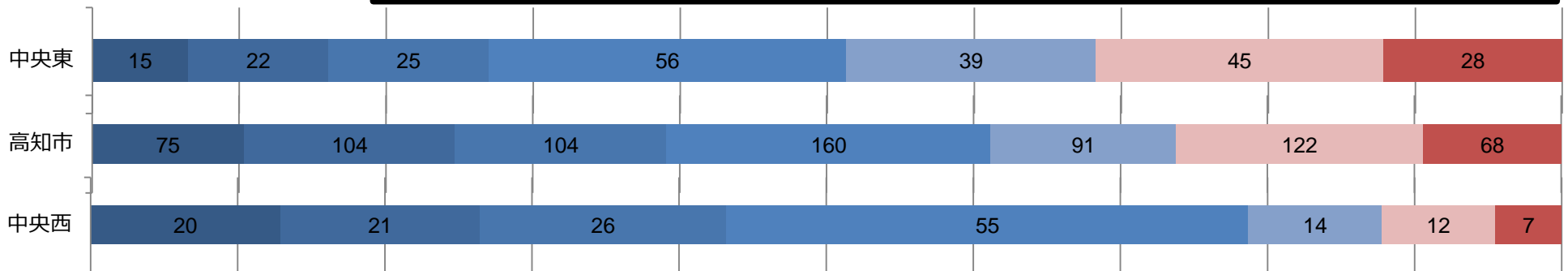


特別集計 2

医療療養病床入院前の医療機関の在院日数（区域別、中央の保健所別）



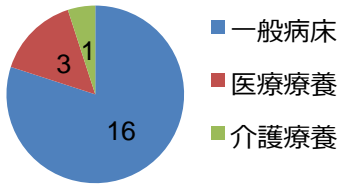
中央東福祉保健所管内と高知市の療養病床において、前医の一般病床における長期間入院が目立つ



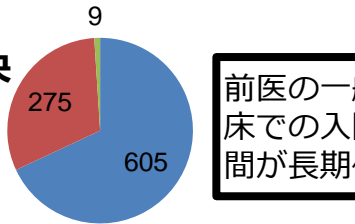
特別集計 3

介護療養病床入院前の医療機関の在院日数（区域別）

安芸

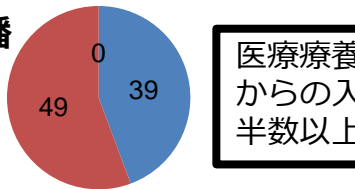


中央



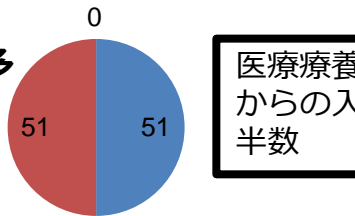
前医の一般病床での入院期間が長期化

高幡

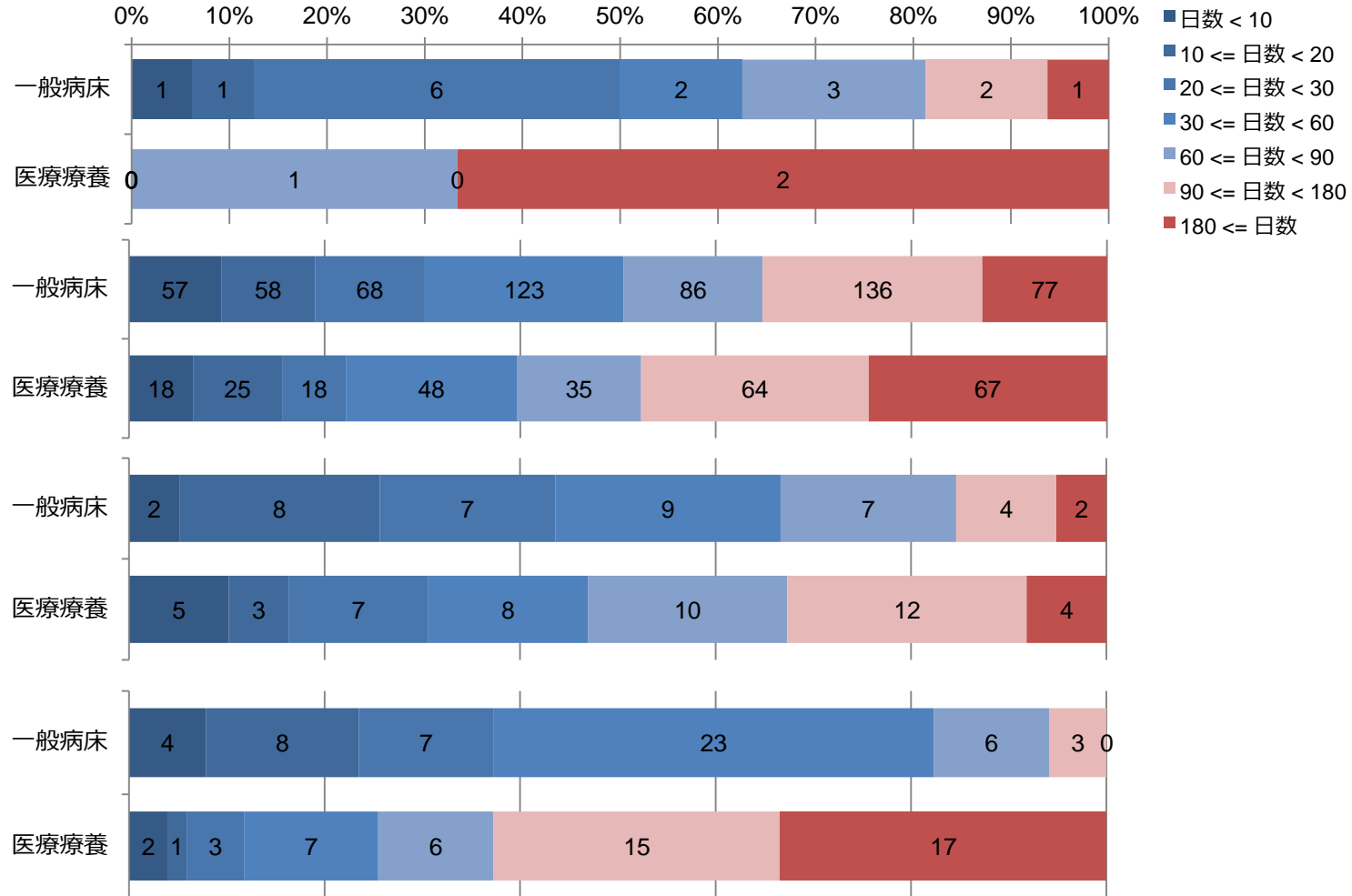


医療療養病床からの入院が半数以上

幡多



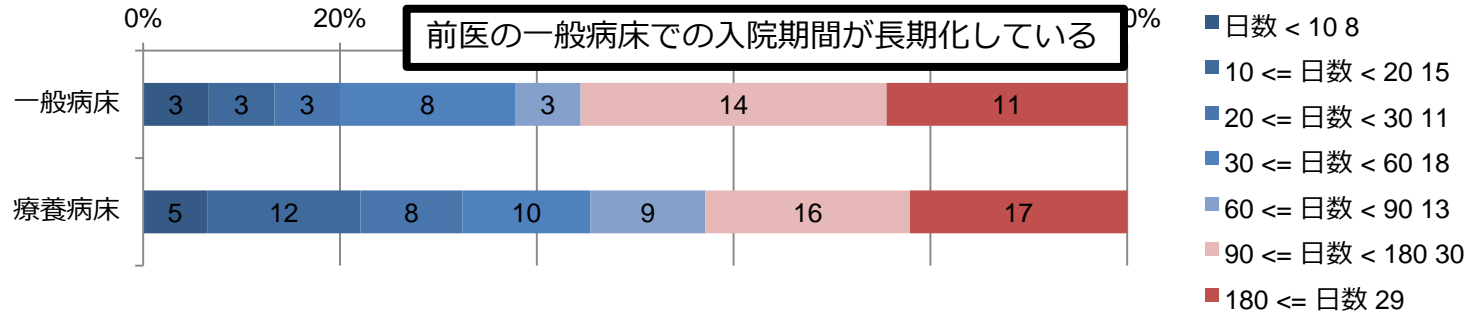
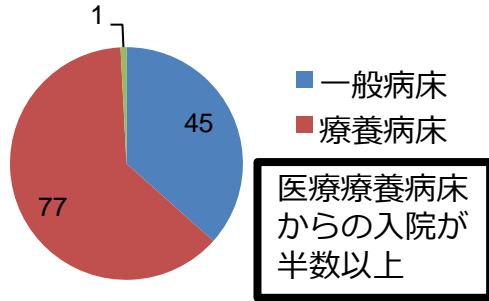
医療療養病床からの入院が半数



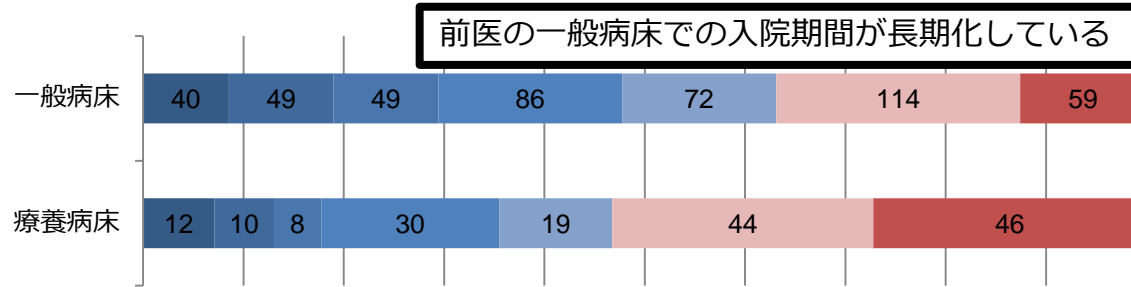
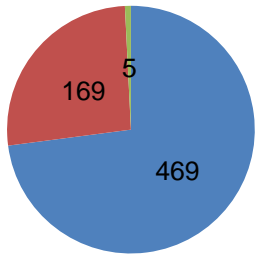
特別集計 4

介護療養病床入院前の医療機関の在院日数（中央の保健所別）

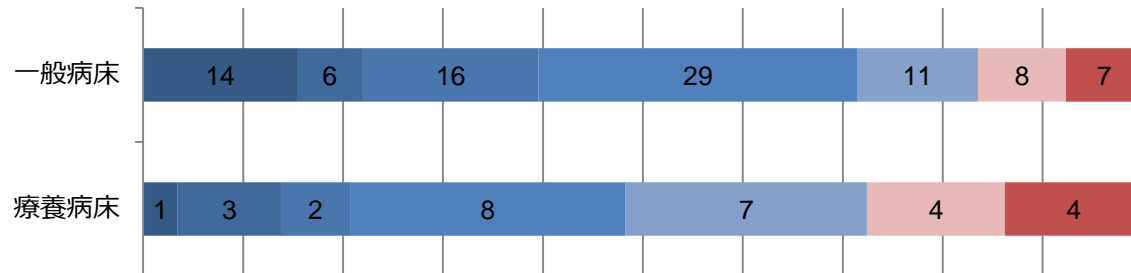
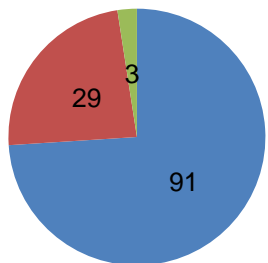
中央東



高知市

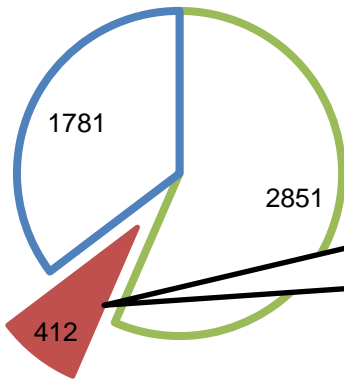


中央西



特別集計 5

入院理由の記載 (n=5,044) について



看取りの記載が少なかった理由の仮説

- ① 記入しなかった (記載例には示したが、気付かれなかった)
- ② 看取りという話を患者家族にしていない

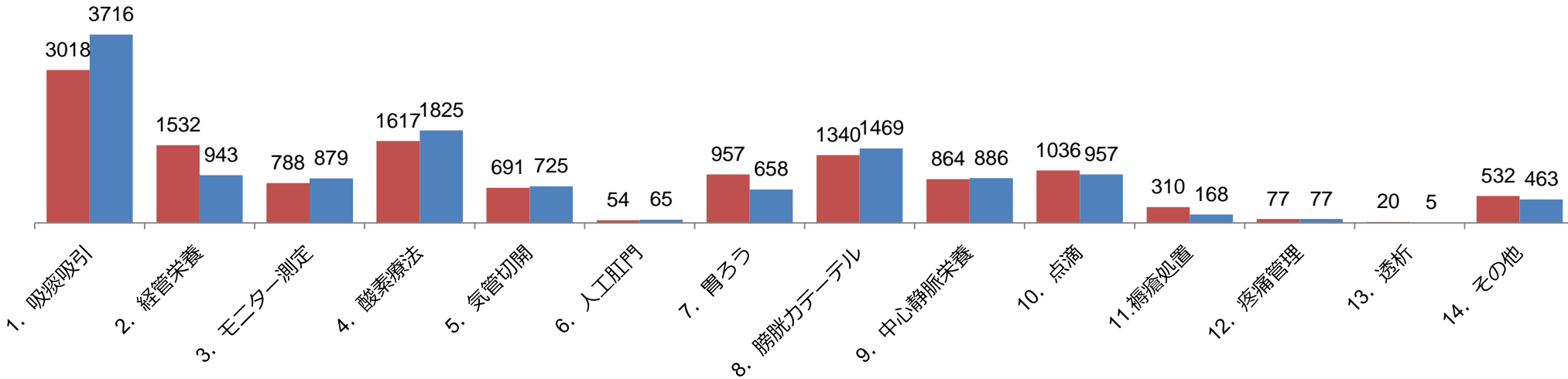
→いずれにせよ、新たな類型ではターミナルケアの役割が求められる

- 理由あり (看取り/ターミナルなし) 件数
- 理由あり (看取り/ターミナルあり) 記載件数
- 理由なし

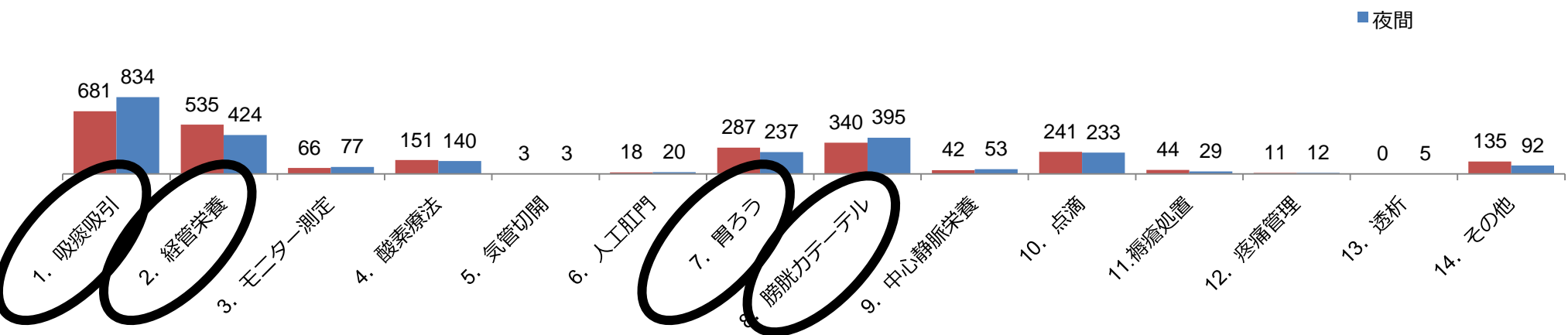
特別集計 6

医療処置等について

＜医療・介護療養病床入院患者のうち、日中／夜間に提供されている医療処置等＞ n = 5,374



＜介護療養病床入院患者のうち、日中／夜間に提供されている医療処置等＞ n = 1,832

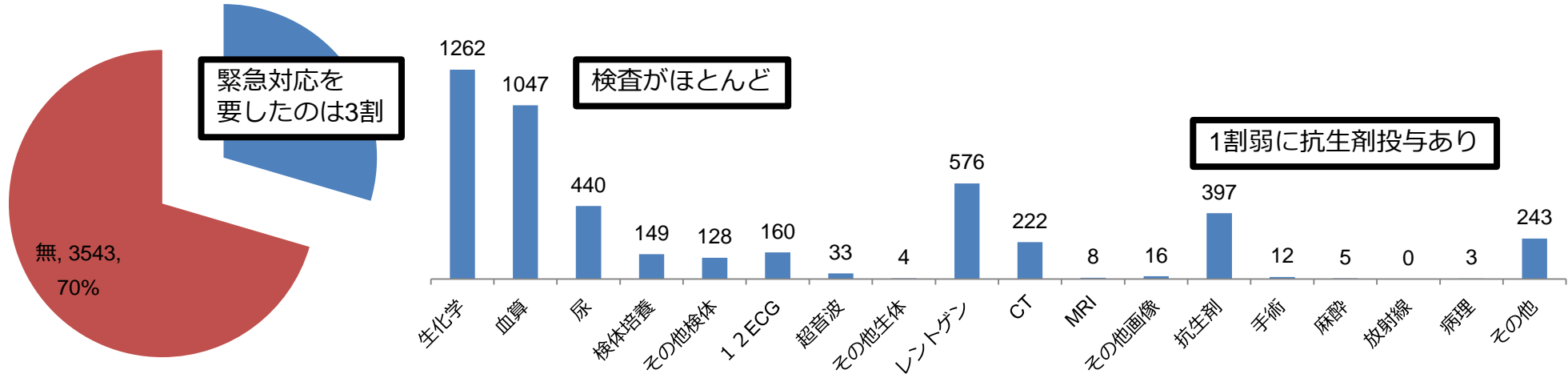


■ 日中
■ 夜間

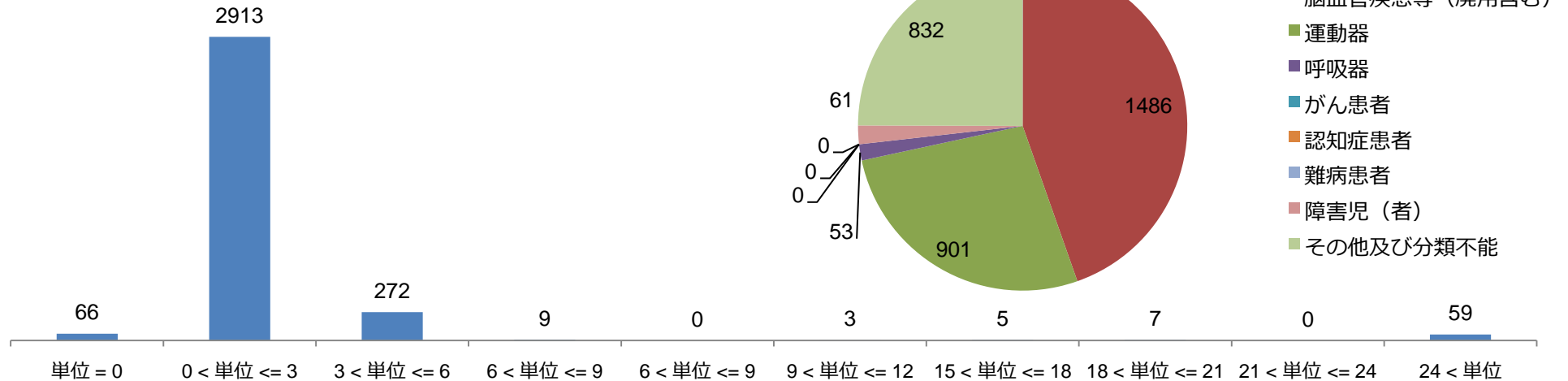
特別集計 7

医療・介護療養病床入院患者に提供された緊急の検査や処置、リハビリについて

<30日間で行われた緊急の検査や処置の有無 (n=5,029) と検査や処置の数 (複数回答可) >



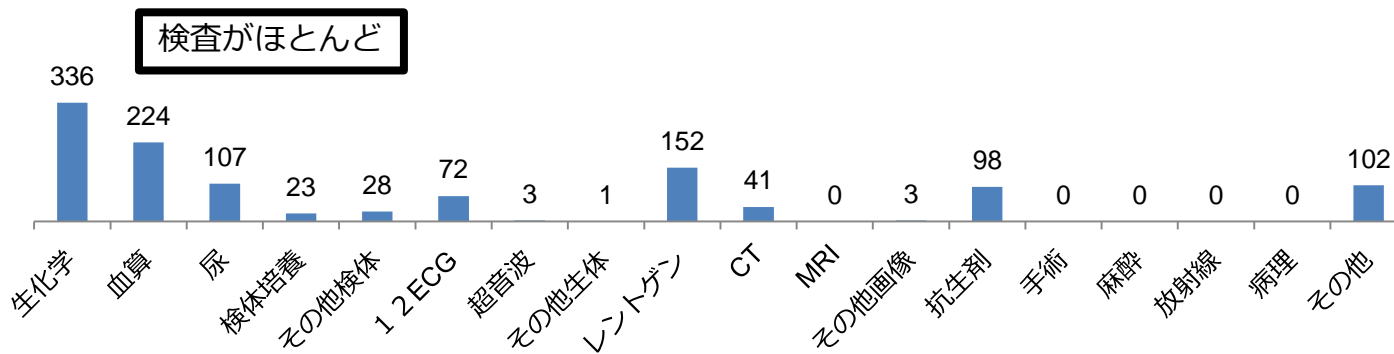
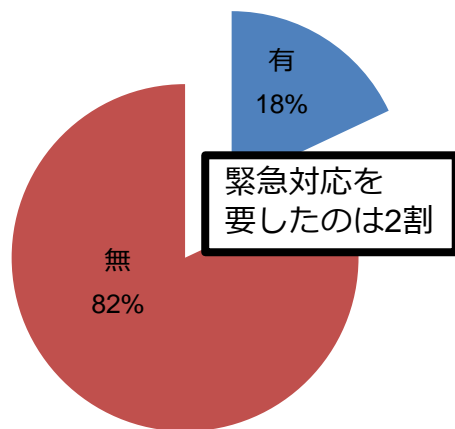
<一日に提供されているリハビリの量と種類>



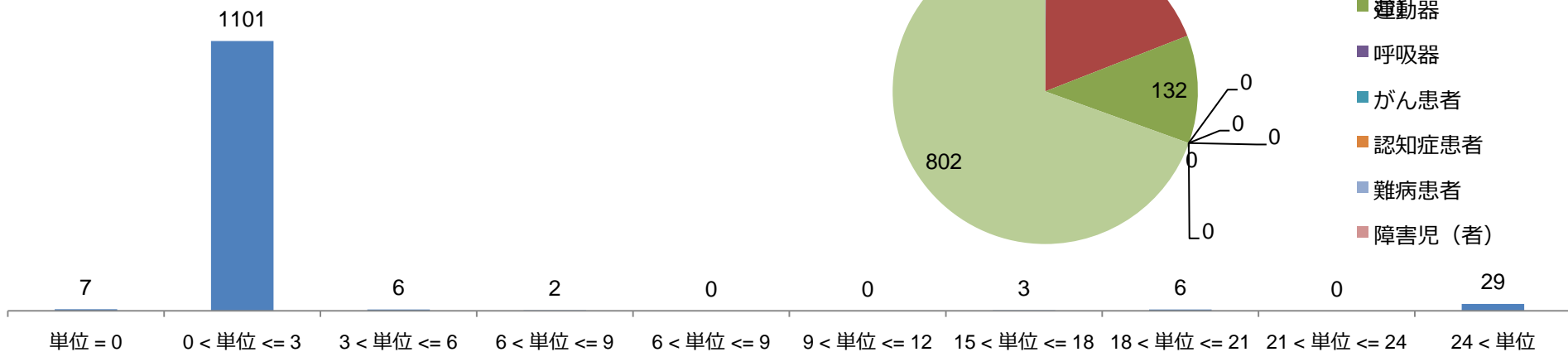
特別集計 8

介護療養病床入院患者に提供された緊急の検査や処置、リハビリについて

<30日間で行われた緊急の検査や処置の有無 (n=1,511) と検査や処置の数 (複数回答可) >



<一日に提供されているリハビリの量と種類>



特別集計 9

療養病院の間の患者移動について

高知

一般病床

長期間入院

52.9%
(1,433)

53.1%
(711)

医療療養病床

3,542

区分3 21.4%(753)

区分2 50.0%(1,760)

区分1 28.6%(1,002)

3.1%
(68)

24.8%
(378)

6.2%
(166)

転院調整・待ち
595

介護療養病床

1,832

2%
(10)

転院調整・待ち
223

全国

一般病床

52.2%

54.7%

医療療養病床

区分3 40.2%

区分2 45.5%

区分1 14.4%

1.4%

8.9%

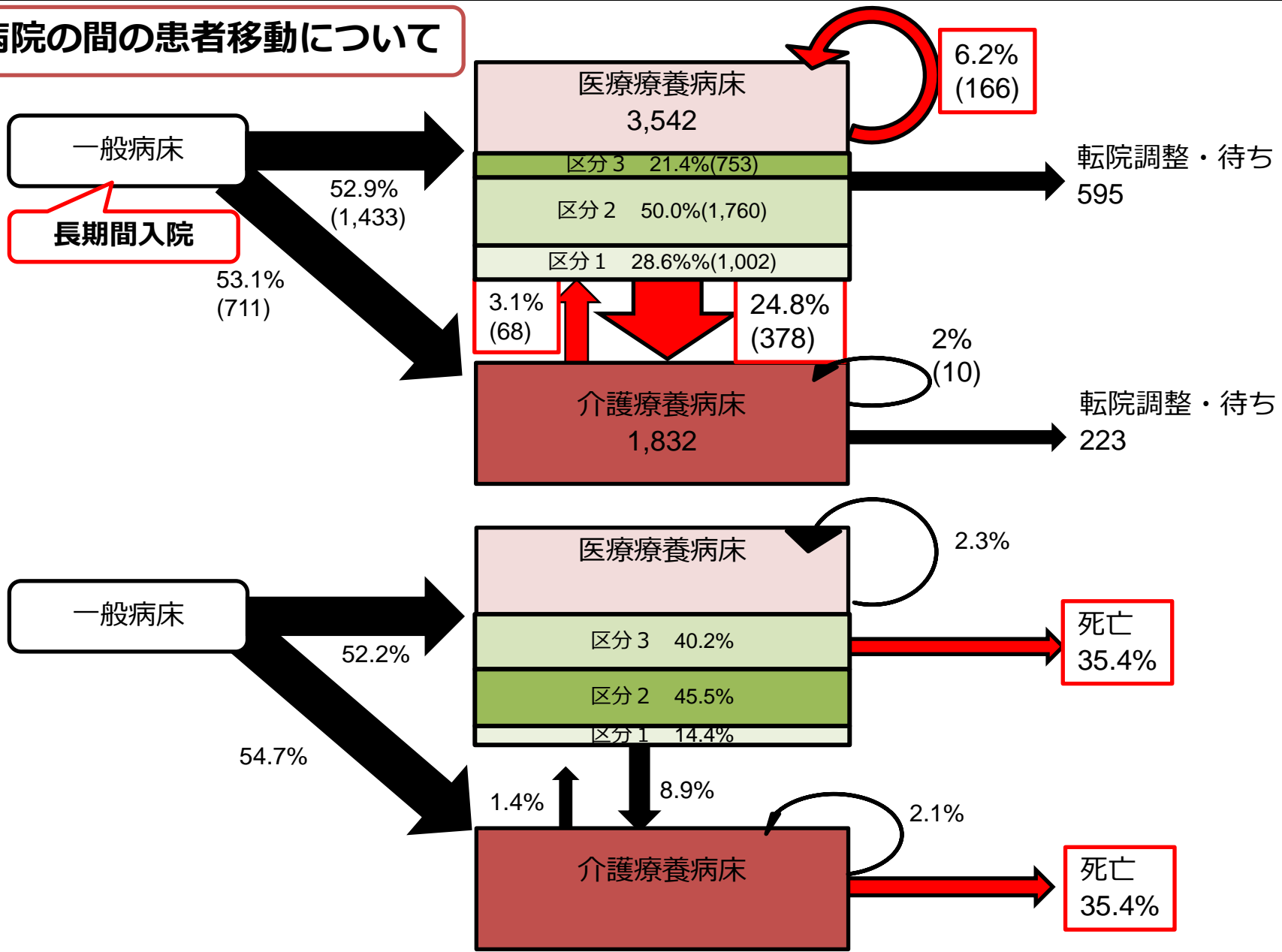
2.3%

死亡
35.4%

介護療養病床

2.1%

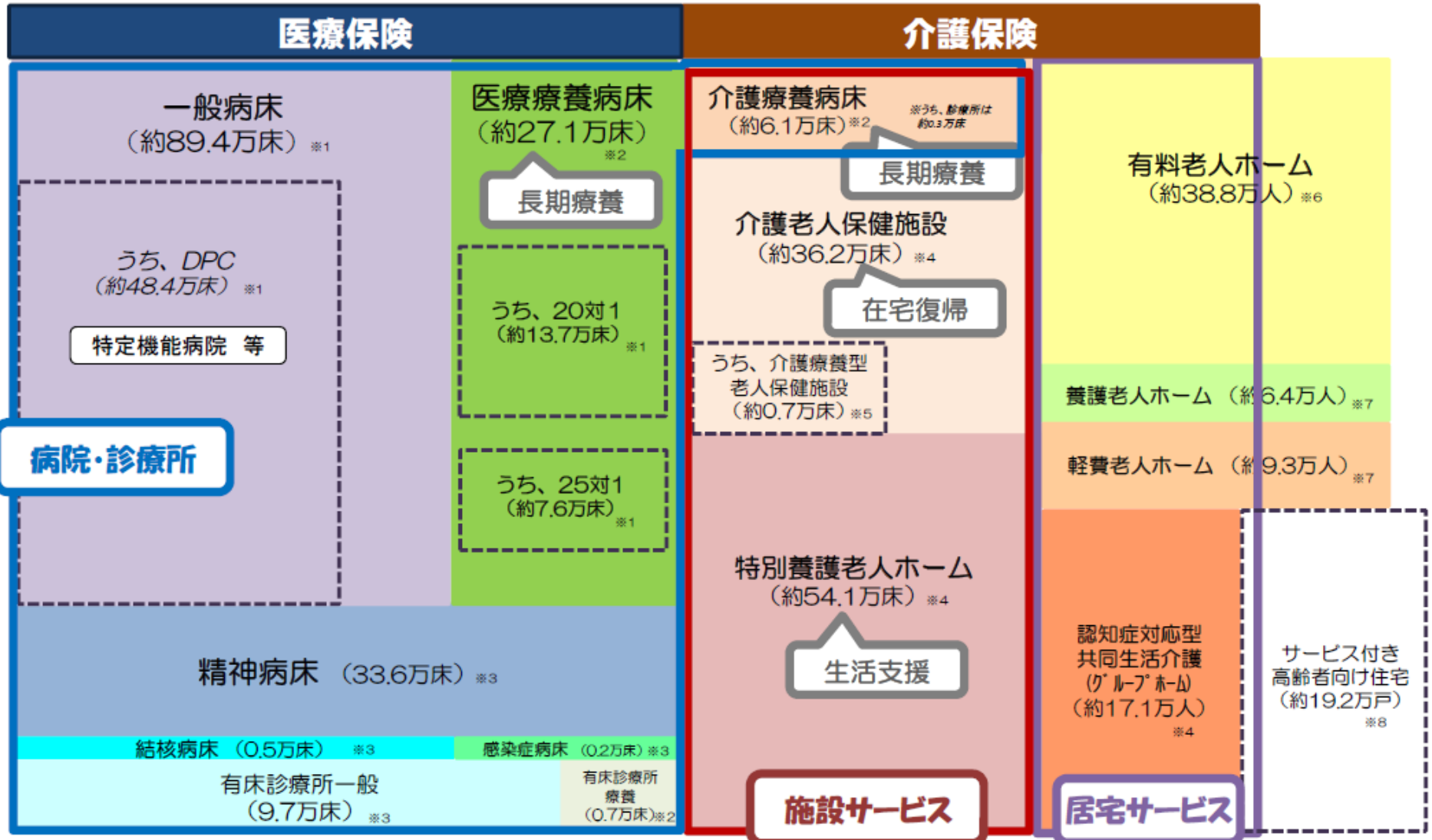
死亡
35.4%



調査結果について、ご議論いただきたい論点（たたき台）

1. 一般病床について
 - 転院前一般病床での在院日数が長いことについて
2. 受け皿整備について
 - ① 現在の医療療養病床入院患者（医療区分1）について
 - ② 現在の介護療養病床入院患者について
 - ③ 現在の一般病床入院患者のうち療養環境を待っているであろう患者について
 - ④ 今後発生する、低所得・家庭介護力なしの高齢者について
3. 看取りについて
 - 課題と考えられる点について
4. 住民の意識について
 - 患者・家族と退院支援担当者間の認識のズレについて

医療・介護サービス提供における全体像（イメージ）



※1 施設基準届出(平成26年7月1日)
 ※2 病院報告(平成27年8月分概数)
 ※3 医療施設動態調査(平成27年10月末概数)
 ※4 介護サービス施設・事業所調査(平成26年10月1日)

※5 介護保険総合データベース集計情報より老人保健課推計(平成25年6月分)
 ※6 老健局高齢者支援課調べ(平成26年7月1日)
 ※7 平成26年社会福祉施設等調査(平成26年10月1日)
 ※8 サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム(平成27年12月)

療養病床等の現状

	一般病床	医療療養病床	介護療養型医療施設	介護老人保健施設	介護老人福祉施設
定義	病院又は診療所の病床のうち、精神病床、感染症病床、結核病床、療養病床以外のもの	病院又は診療所の病床のうち、精神病床、感染症病床、結核病床以外の病床であって、主として長期にわたり療養を必要とする患者を入院させるためのもの	療養病床等を有する病院又は診療所であって、当該療養病床等に入院する要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護その他の世話及び機能訓練その他必要な医療を行うことを目的とする施設	要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の世話を行うことを目的とする施設	要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行うことを目的とする施設
	医療法第7条第2項	医療法第7条第2項	旧・介護保険法第8条第26項	介護保険法第8条第27項	介護保険法第8条第26項
設置根拠		医療法(医療提供施設)			老人福祉法 (老人福祉施設)
		医療法(病院・診療所)			
財源		医療保険		介護保険	
平均的な1月の1人当たりの費用額の推計	—	入院基本料1 約59.6万円 入院基本料2 約45.8万円 (注1)	介護療養施設サービス 約35.8万円 (注2)	介護保健施設サービス 約27.2万円 (注2)	介護福祉施設サービス 約25.5万円 (注3)

(注1) 療養病床入院基本料1及び2を算定する病床の患者1人1月当たりのレセプト請求金額(平成26年度入院医療等の調査)に基づき、1月を30.4日として1月の請求額を算出。

(注2) 介護サービス受給者1人当たり費用額(介護給付費実態調査平成27年3月審査分)

(注3) 介護福祉施設サービス及び地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護における1人当たり費用額(介護給付費実態調査平成27年3月審査分)

医療法・介護保険法上の主な人員配置基準

	一般病床 ^(※1)	医療療養病床 ^(※1)	介護療養型医療施設 ^(※1)	介護老人保健施設	介護老人福祉施設
医師	16対1 3名以上	48対1 3名以上	48対1 3名以上	100対1以上 常勤1以上	健康管理及び療養上の指導を行うために必要な数
薬剤師	70対1 1名以上	150対1 1名以上	150対1 1名以上	実情に応じた適当数 (300対1を標準)	—
看護職員	看護師及び准看護師3対1 1名以上	看護師及び准看護師4対1 ^(※2) 1名以上 看護補助者 4対1 ^(※2)	6対1以上	3対1以上 (うち看護職員 ^(※3) は2/7程度を標準)	入所者の数が3又はその端数を増すごとに1以上
介護職員	—	—	6対1以上		
栄養士	病床数100以上の病院に1人	病床数100以上の病院に1人	病床数100以上の病院に1人	定員100以上の場合、1以上	1以上
介護支援専門員	—	—	1以上 (100対1を標準)	1以上 (100対1を標準)	1以上 (入所者の数が100又はその端数を増すごとに1を標準)

※1 病院の場合の基準であり、診療所は含まない。

※2 平成30年3月31日までは、6:1でも可。

※3 看護師又は准看護師

医療療養病床（20対1・25対1）と介護療養病床の現状

療養病床については、医療法施行規則に基づき、看護師及び看護補助者の人員配置は、本則上4対1（診療報酬基準でいう20対1に相当）以上とされているが、同施行規則（附則）に基づき、経過措置として、平成30年3月31日までの間は、6対1（診療報酬基準でいう30対1に相当）以上とされている。

※ 医療法施行規則に基づく人員配置の標準は、他の病棟や外来を合わせ、病院全体で満たす必要がある。

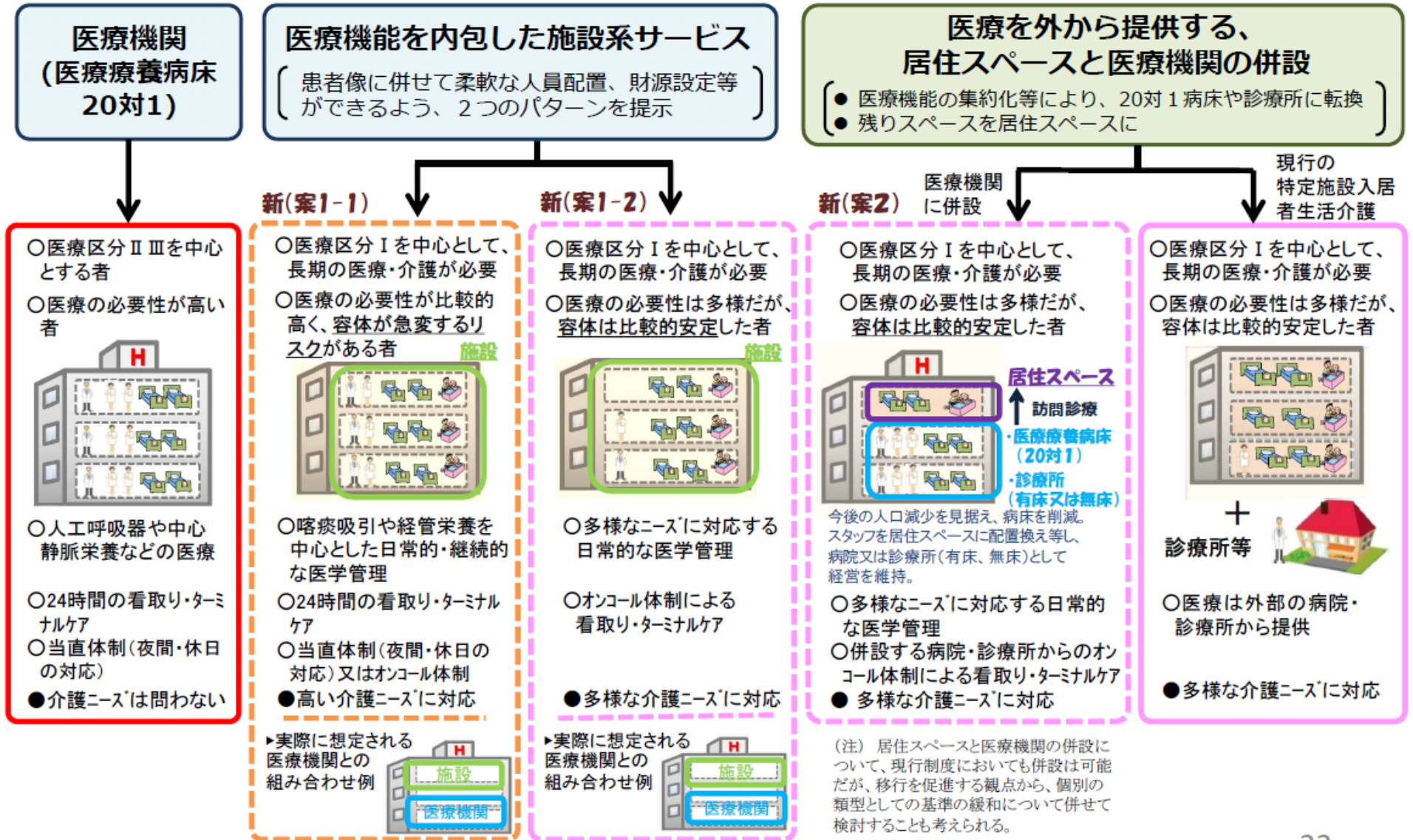
		医療療養病床		介護療養病床
		20対1	25対1	
人員	医師	48対1(3人以上)	48対1(3人以上)	48対1 (3人以上)
	看護師及び 准看護師	20対1 (医療法では4対1)	25対1 (医療法では、4対1が原則だが、29年度末まで経過的に6対1が認められている。)	6対1 (診療報酬基準でいう30対1に相当) (医療法では、4対1が原則だが、29年度末まで経過的に6対1が認められている。)
	看護補助者	20対1 (医療法では、4対1)	25対1 (医療法では、4対1が原則だが、29年度末まで経過的に6対1が認められている。)	—
	介護職員	—	—	6対1
施設基準		6.4㎡以上	6.4㎡以上	6.4㎡以上
設置の根拠		医療法(病院・診療所)	医療法(病院・診療所)	医療法(病院・診療所)
病床数		約13.7万床(※1)	約7.6万床(※1)	約6.1万床(※2)
財源		医療保険	医療保険	介護保険
報酬(例)(※3)		療養病棟入院基本料1	療養病棟入院基本料2	療養機能強化型A、療養機能強化型B、その他

(※1)施設基準届出(平成26年7月1日現在)

(※2)病院報告(平成27年8月分概数)

(※3)療養病棟入院基本料は、医療区分・ADL区分等に基づく患者分類に基づき評価。介護療養施設サービス費は、要介護度等に基づく分類に基づき評価。

慢性期の医療・介護ニーズへ対応するためのサービスモデル (イメージ)

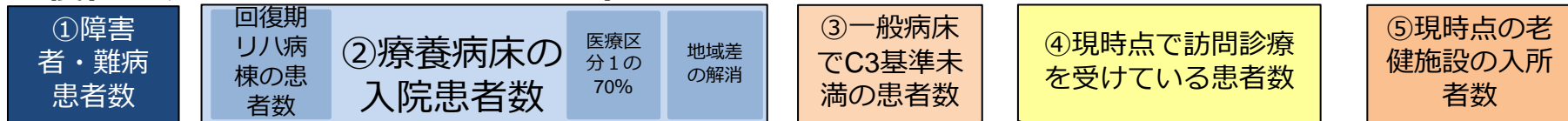


※ 介護保険施設等への転換を行う場合は、介護保険事業計画の計画値の範囲内となることに留意が必要。

(参考) 慢性期機能及び在宅医療等の医療需要推計について

慢性期機能及び在宅医療等の医療需要のイメージ図※

【現状】



【将来】



※ このイメージ図では将来の人口構成の変化を考慮していない。実際には地域における将来の人口構成によって幅の変化が起こる。

【入院受療率の地域差の解消目標】

パターンA

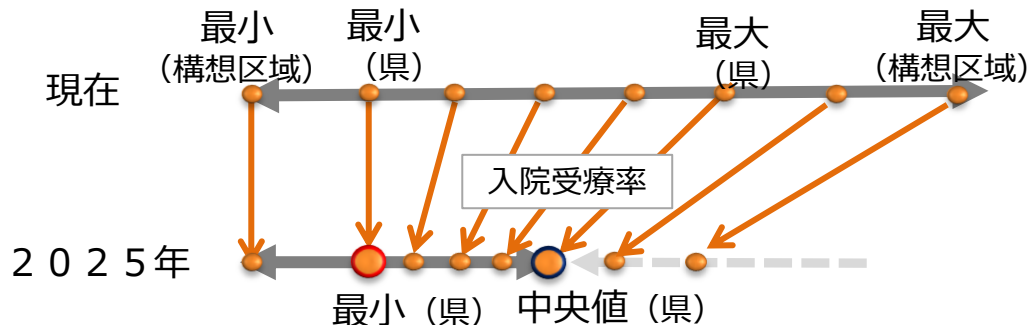
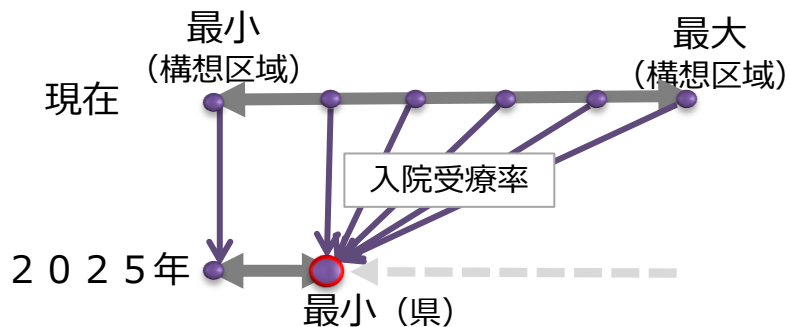
全ての構想区域が
全国最小値（県単位）まで入院受療率
を低下する。

パターンB

構想区域ごとに入院受療率と全国最小値(県単位)との差を一定割合解消させることとするが、その割合については全国最大値(県単位)が全国中央値(県単位)にまで低下する割合を一律に用いる。

※ただし、受療率が全国最小値(県単位)未満の構想区域については、平成25年(2013年)の受療率を用いて推計することとする。

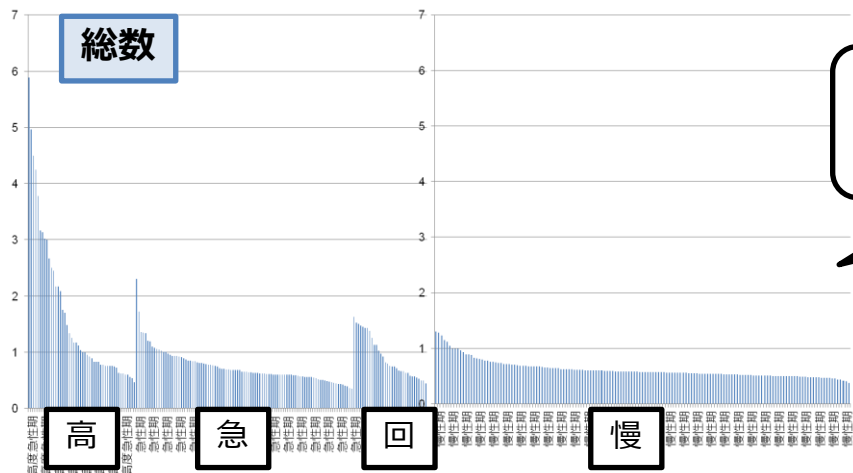
※ただし、受療率が全国最小値(県単位)未満の構想区域については、平成25年(2013年)の受療率を用いて推計することとする。



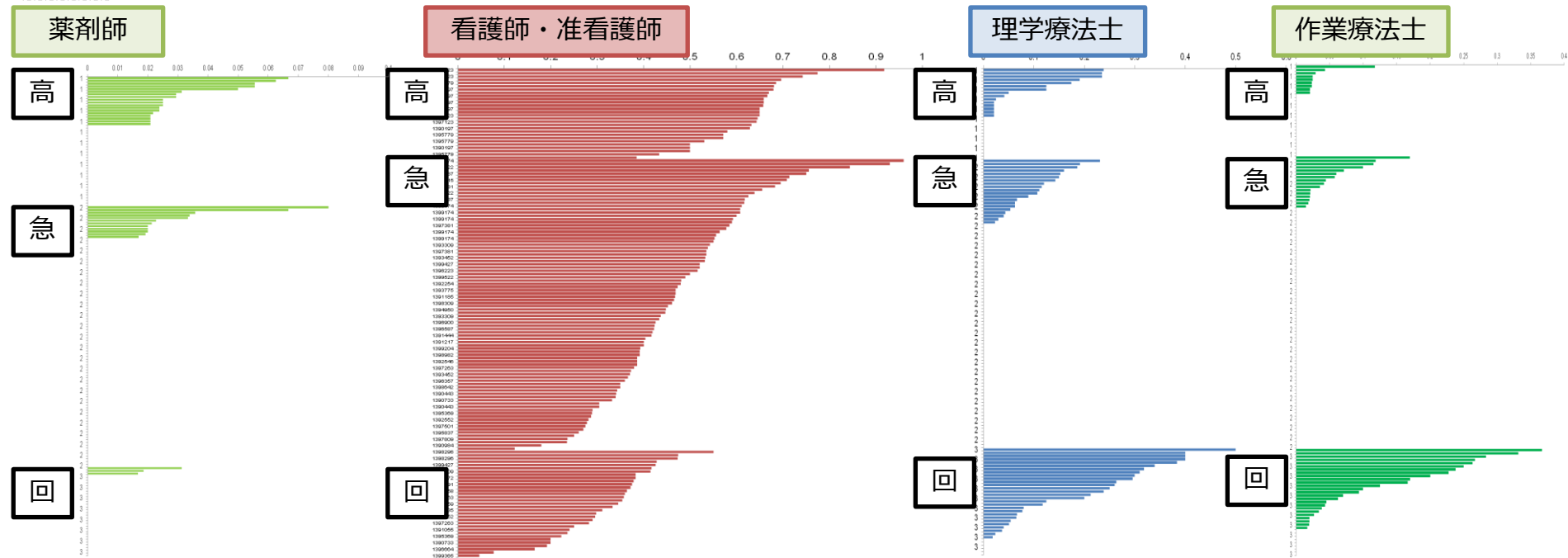
(参考) 高知県内における医療機関の病棟人員配置密度について

H26病床機能報告制度 1床あたりの病棟勤務医療職員数 (病床機能別)

常勤・非常勤(常勤換算)、入院基本料で特殊及び緩和ケア病棟除く

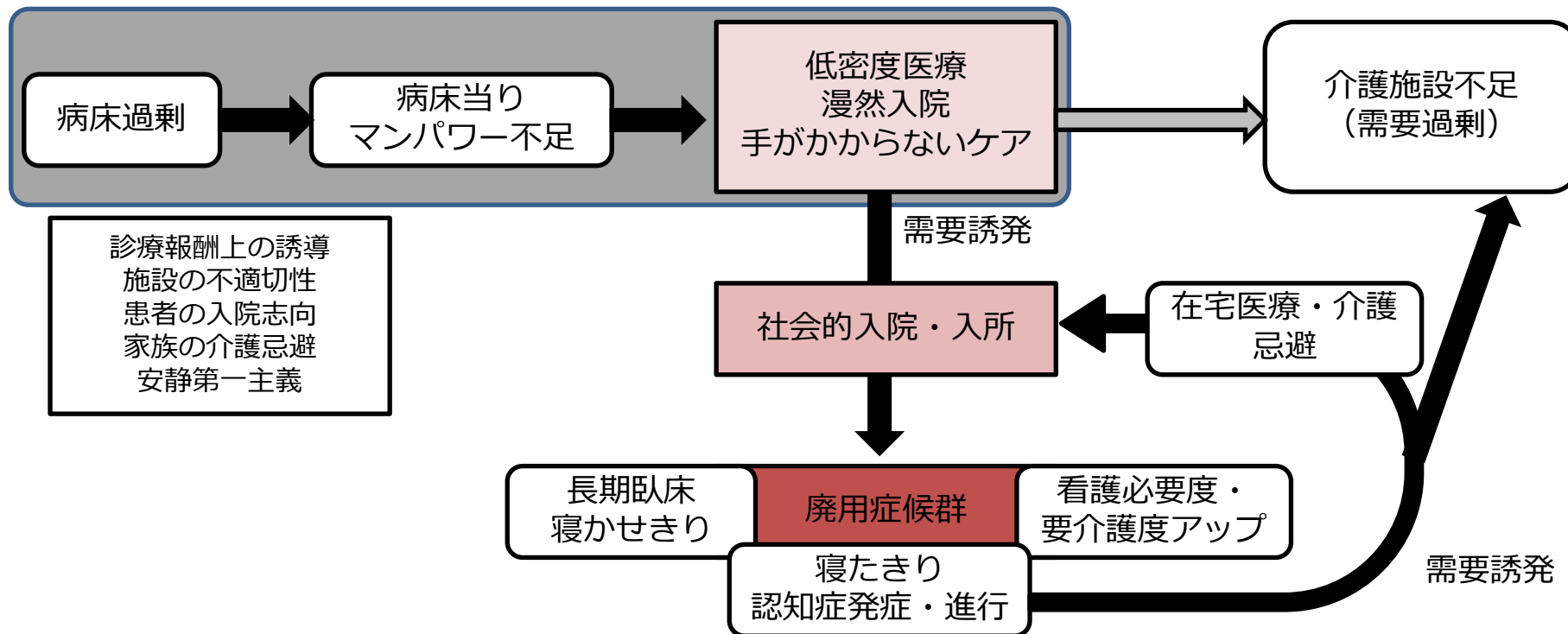


同じ医療機能において、病棟職員数の密度に大きな違いが認められる。



(参考) 社会的入院

低密度医療の提供による供給誘導需要のメカニズムについて



<社会的入院の原因分析>

三大要因

- ・ 家族の介護力不足（介護施設よりも病院を選択する理由にはならない）
- ・ 介護忌避
- ・ 介護施設の不足

諸要因

- 患者：入院医療に対する依存
- 家族：介護忌避
- 病院：退院支援機能が不足